

令和元年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

平成30年度 個性ある区づくり推進費

決算状況



令和元年9月4日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 平成30年度神奈川区個性ある区づくり推進費決算調書・・・	1
2 平成30年度神奈川区編成予算自主企画事業執行実績・・・	3

平成30年度 神奈川区個性ある区づくり推進費 決算調書

1 区分別総括表

(単位：円)

	予算額	決算額	差引
(1) 自主企画事業費	105,863,000	105,318,203	544,797
(2) 一般管理費	599,674,000	593,011,196	6,662,804
ア 統合事務費	28,023,000	26,711,130	1,311,870
イ 区庁舎・区民利用施設管理費	571,651,000	566,300,066	5,350,934
合計	705,537,000	698,329,399	7,207,601

≪区づくり推進費 執行率 99.0%≫

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 105,318,203円 (予算額 105,863,000円) 差引 544,797円
 ≪執行率 99.5%≫

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	主な増減理由
4つの施策				
I 安全・安心なまちづくり	23,767,000	23,139,447	627,553	地震火災対策の進捗に伴い補助申請が減少したことによる減等
II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	22,802,000	20,691,889	2,110,111	区民向け講習会を、既存会合を活用して開催したことによる減等
III 魅力にあふれ活力あるまちづくり	17,054,000	18,256,486	△ 1,202,486	歩行者動線整備に付帯する周辺環境整備による増
IV 地域の力やつながりをはぐくむまちづくり	21,105,000	18,626,314	2,478,686	コーディネーター派遣謝金単価の減及び情報紙作成の契約残等
V 共感と信頼の区政運営	21,135,000	24,604,067	△ 3,469,067	窓口番号発券機更新による増等
合計	105,863,000	105,318,203	544,797	(34事業)

(2) 一般管理費 593,011,196円 (予算額 599,674,000円) 差引 6,662,804円
 ≪執行率 98.9%≫

ア 統合事務費

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引
統合事務費	28,023,000	26,711,130	1,311,870

イ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	主な増減理由
1 区庁舎等	79,384,000	74,968,483	4,415,517	光熱水費節減による減等
2 土木事務所	8,150,000	7,854,747	295,253	光熱水費節減による減等
3 公会堂	34,682,000	34,682,000	0	
4 地区センター等	192,919,000	193,241,380	△ 322,380	スポーツ会館天井改修調査実施による増
5 ログハウス	8,051,000	8,051,000	0	
6 区民文化センター	112,779,000	112,779,000	0	
7 老人福祉センター	25,215,000	25,215,000	0	
8 コミュニティハウス	51,591,000	51,591,000	0	
9 スポーツセンター	50,000,000	48,600,000	1,400,000	吊天井工事期間変更に伴う工事負担金の減
10 広場・遊び場	1,380,000	2,013,727	△ 633,727	倒木の危険のある樹木伐採実施による増
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500,000	7,303,729	196,271	修繕箇所への減
合計	571,651,000	566,300,066	5,350,934	

～平成30年度神奈川区編成予算自主企画事業執行実績～

I 安全・安心なまちづくり 23,139,447円 (予算額23,767,000円)

- (1) 地域防災力向上事業 重点
- (2) 神奈川区防犯対策事業
- (3) 交通安全対策事業

自主企画事業費以外で実施した主な事業

- ① 緊急時情報システムの運用及び検証 (総務局区配)
- ② 公園再整備・施設改良事業 (環境創造局区配)
- ③ 地域防災拠点流末管きよ耐震化事業／災害用ハマッコトイレ整備事業 (環境創造局事業)
- ④ 道路維持修繕事業 (道路局区配)
- ⑤ 道路改良事業 (道路局区配)
- ⑥ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業 (道路局区配)
- ⑦ 荒木橋補修事業 (道路局事業)
- ⑧ 都市計画道路大田神奈川線 (馬場地区) 街路整備事業 (道路局事業)
- ⑨ 神奈川東部方面線整備事業 (都市整備局事業)
- ⑩ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業 (都市整備局事業)
- ⑪ 東高島駅北地区開発事業 (都市整備局事業)
- ⑫ まちの不燃化推進事業 (都市整備局事業)

(1) 地域防災力向上事業 16,499,984 千円 (予算額 17,105,000 円) ☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課 こども家庭支援課

大規模災害に備え、防災・減災を自らのことと捉え行動に移すため、地域の自助・共助の取組を支援するとともに、防災・減災を推進する人材へのサポートを進め、町の防災組織の活性化に取組みました。また、防災への関心を高めるため、中学生や子育て世代に対する啓発を進めました。

ア 地域防災力の強化

- ◆ 神奈川区「地域の防災マップ」作成支援事業（実績：13 団体）
作成支援セミナーの実施（5月11、12日 49名参加）
- ◆ 神奈川区共助推進事業（実績：28 団体）
- ◆ 次世代への防災教育
 - ・新中学1年生への防災ガイド配布（7校1,500部）
 - ・私学4校を含めた「神奈川区中学校防災連絡会」の開催（5月29日、2月27日）
- ◆ 子育て世代向け防災ガイドの作成
区内公立小・中学校の児童・生徒を通じて各家庭へ配布（8～9月）
- ◆ 感震ブレーカー設置推進事業（実績：3 団体 1,030 個）
- ◆ スタンドパイプ式初期消火器具整備費補助事業（実績：5 基）
- ◆ 防災・減災推進人材サポート事業
「町の防災組織」支援セミナー（5月11、12日 65名参加）
- ◆ 家具転倒防止対策等アドバイザー派遣事業（実績：30 件）
- ◆ 家具転倒防止器具補助事業（実績：45 件）
- ◆ 地域防災拠点開設・運営訓練及び運営委員会への支援（通年）
- ◆ 神奈川区内鉄道事業者等による災害対策検討協議会（6月28日）
- ◆ 区防災関係機関会議（7月25日）
- ◆ 新子安・子安通1丁目・入江地区及び神奈川区臨海部防災協議会（9月14日）

イ 区役所災害対応力の強化

災害時に職員が迅速かつ的確に行動できるよう、訓練や研修を実施し、災害対応力の強化を図りました。

- ◆ 転入職員向け研修（4月2、13日）
- ◆ 即応班研修（4月25、27日）
- ◆ 風水害対策訓練（6月13日）
- ◆ 参与・参与補助者研修（7月2、3日）
- ◆ 拠点動員者向け研修（8月9、10日）
- ◆ 庁舎避難誘導訓練（9月5日）
- ◆ 区本部初動対応訓練（9月19、21、26日）
- ◆ 区本部運営訓練（2月22日）
- ◆ 区本部運営に必要な物資の整備（通年）



区本部初動対応訓練

① 緊急時情報伝達システムの運用及び検証（総務局区配）

地域の防災組織の長（自治会町内会長）と区との間の情報受伝達手段のひとつとして、電話を利用した、双方向機能を有する「緊急時情報システム」を試行運用し、実務上の課題等を検証しました。

ウ 医療初動体制の整備

◆災害医療に係る機関や団体との連携

- ・区医師会等関係機関と災害医療体制について検討する神奈川区災害医療連絡会議（6月22日、2月26日）
- ・横浜市災害支援ナース（Yナース）研修に区登録Yナース参加（3月3日）
- ・神奈川区災害医療訓練説明会（11月21日）

◆災害医療の訓練や区民啓発

- ・医師会、区内災害時救急病院（8か所）との情報受伝達訓練（8月から隔月で実施）
- ・発災後に医療機関や薬局の開業を知らせるのぼり旗の掲出訓練（9月3～8日、3月11～16日）
- ・災害医療体制周知のため地域防災拠点訓練に
合わせて災害時医療訓練を実施（浦島小（9/1）、西寺尾小（9/2）、中丸小（9/9）、青木小（12/2））
- ・区医師会、歯科医師会、薬剤師会、区内医療機関等と連携した災害医療訓練（鶴見区と合同開催）（1月20日）



エ 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供及び助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援しました。

◆新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結

（名簿提供団体：94団体、うち30年度の新規提供団体：4団体）

◆災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（8～9月、計3回）

◆災害時要援護者支援事業助成金の交付（8団体）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成

◆地域の取組事例集の作成・配布（8月）



オ 福祉避難所関連事業

神奈川区災害時要援護者支援事業 地域の取組事例集

平成30年4月に特別避難場所の名称が福祉避難所に変更となったことに伴い、福祉避難所の役割や機能の区民等への周知及び運営体制の整備を図りました。

◆特別避難所から名称変更した福祉避難所の役割や機能の周知

- ・神奈川区独自の福祉避難所周知チラシの作成（9月、7,000部）
- ・作成したチラシを活用し、町内会班回覧などにより区民等への福祉避難所の役割や機能を周知（10月～）

◆運営体制の整備

- ・福祉避難所協定締結施設との連絡会を開催
第1回：8月3日開催（13施設、14名参加）第2回：2月20日開催（13施設、14名参加）
- ・福祉避難所協定締結施設を対象に、3月20日研修会を開催（11施設、14名参加）
- ・新たに特別養護老人ホーム4施設と協定を締結し、協定施設数を拡大
神奈川区の福祉避難所協定締結数：20施設（平成31年3月末現在）

カ 災害時のペット対策

◆地域防災拠点における災害時のペット対策支援（通年）

- ・「神奈川県地域防災拠点におけるペット同行避難対応ガイドライン」に従い、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策を支援しました。
- ・地域防災拠点訓練時に、16 拠点でペット同行避難訓練やパネル展示を実施しました。
（池上小、菅田小、羽沢小、西寺尾小、中丸小、幸ヶ谷小、栗田谷中、神橋小、神奈川中、神大寺小、大口台小、青木小、三ツ沢小、南神大寺小、浦島丘中、錦台中）
- ・地域防災拠点運営委員会総会（6月7日）や運営委員会等にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発しました。
- ・実際に被災地でペット対策に従事した専門家等による講演会を8月4日に実施しました。
（47名参加）

◆飼い主への災害時ペット対策の啓発（通年）

- ・地域防災拠点（16 拠点）や区民ホール（6月4～8日、8月20～24日）、区民まつり（10月7日）にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施しました。
- ・「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を動物病院や区役所等で2,200部配布しました。



地域防災拠点でのペット同行避難訓練



飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット

キ 保育・教育施設における防災対策の検討【新規】

◆大規模災害発生時に備えて、保育・教育施設が講じておくべき対策を「保育・教育施設防災対策検討会」にて検討しました。併せて、検討成果をリーフレットにまとめました。

- ・検討会の実施（5/25、7/27、9/18、11/20、1/22）
- ・検討会メンバー：保育・教育施設の園長級職員（6名）
- ・リーフレットの作成（3月）

(2) 神奈川区防犯対策事業 2,904,500円(予算額2,882,000円)

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察署や防犯協会と連携を図りながら、情報提供・啓発活動などの防犯対策を推進しました。

ア 住みよいまちづくり活動(21地区連合町内会の防犯活動支援)

- ◆ 助成金交付、防犯啓発物品の配布・貸与の実施

イ 防犯活動啓発事業

- ◆ 防犯情報メールの配信、区ツイッターへの掲載実施
- ◆ 地域への防犯グッズ(帽子・ベスト・防犯棒等)の配布実施
- ◆ 地域・事業者等の車両による青色回転灯パトロールの実施及び支援
- ◆ その他区内の各地区の犯罪発生状況に応じた啓発・物品の配布

(3) 交通安全対策事業 3,734,963円(予算額3,780,000円)

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を図りました。

また、路側帯のカラー化など用地取得を伴わない安全対策を行い、歩行者環境の改善を図りました。

ア 交通安全啓発事業

- ◆ 交通安全教室の開催 対象：小・中学生、高齢者
- ◆ 交通安全チラシおよび啓発物品の配布、広報よこはま区版の活用

イ 神奈川区交通安全対策協議会事業

- ◆ 神奈川区交通安全対策協議会の開催、交通安全功労者表彰の実施等

ウ 児童通学路整備事業

- ◆ 神奈川区交通安全対策協議会の開催、交通安全功労者表彰の実施等
- ◆ スクールゾーン対策協議会活動の支援
- ◆ 通学路内の路面標示の補修

エ 交通安全対策工事

- ◆ 路面標示・標識の設置、補修等



中学校で実施した交通安全教室



警察と連携した三世代交通安全教室

自主企画事業費以外で実施した主な事業

② 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね 30 年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する工事を実施しています。平成 30 年度は白楽公園、入江一丁目公園で実施しました。また、老朽化した遊具等施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心性の向上を図っており、平成 30 年度は羽沢長谷第三公園、松見町一丁目第二公園、入江二丁目公園、西寺尾の丘公園で実施しました。

③ 地域防災拠点流末管きよ耐震化事業／災害用ハマッコトイレ整備事業（環境創造局事業）

液状化被害等への対策として、地域防災拠点に通じる下水管の耐震化を進めています。平成 30 年度は神奈川中学校、松本中学校の 2 か所で実施しました。

災害用ハマッコトイレ整備は、浦島丘中学校、六角橋中学校、神奈川中学校、中丸小学校、子安小学校の 5 か所で実施しました。

④ 道路維持修繕事業（道路局区配）

神之木町や羽沢町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図りました。

⑤ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線の六角橋西町バス停付近の道路整備工事が完了しました。
未買収地について、さらに用地交渉を進め、早期取得を目指します。

⑥ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき、整備を進めており、平成 30 年度は損傷した誘導ブロックの補修工事を行うとともに、大口駅東側の整備について設計を行いました。

⑦ 荒木橋補修事業（道路局事業）

荒木橋の劣化に伴い、橋梁目地などの補修工事を行いました。

⑧ 都市計画道路大田神奈川線（馬場地区）街路整備事業（道路局事業）

内路交差点北付近の擁壁工事や歩道橋工事を行いました。

⑨ 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

「相鉄・JR 直通線」（西谷～羽沢横浜国大間）は、令和元年 11 月 30 日の開業に向けて、西谷駅や JR 線との接続部である横浜羽沢駅構内での改修工事のほか軌道、建築、機械、電気工事を進めました。

「相鉄・東急直通線」（羽沢横浜国大～日吉間）は、令和 4 年度下期の開業に向けて、全区間で、土木工事を実施しました。

⑩ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備しました。

平成 30 年度は、工事着手を目指し、権利変換計画認可に向けた手続きを進めました。

⑪ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めており、平成30年度は、土地区画整理組合の設立、仮換地指定及び文化財調査等準備工事を実施しました。

⑫ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行いました。浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進しました。

Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 20,691,889円

(予算額 22,802,000円)

- (4) 介護予防・高齢者支援事業 **重点**
- (5) かながわ安心子育て支援事業
- (6) かながわ子育てかめっ子支援事業
- (7) 市立保育所地域交流事業
- (8) 子ども・青少年元気づくり支援事業
- (9) 青少年育成費
- (10) スポーツ振興事業費
- (11) 障害者支援事業
- (12) 放課後児童健全育成連携強化事業

自主企画事業費以外で実施した主な事業

- ⑬ 元気づくりステーション事業（健康福祉局区配）
- ⑭ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局）
- ⑮ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑯ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ⑰ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ⑱ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ⑲ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ⑳ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ㉑ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ㉒ 放課後キッズクラブ施設整備事業（こども青少年局区配）
- ㉓ 放課後児童クラブ移行支援事業（こども青少年局区配）

(4) 介護予防・高齢者支援事業 3,148,884 円 (予算額 3,861,000 円) ☆重点事業

高齢・障害支援課

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区行動指針」を推進していくため、在宅医療に関する区民への普及啓発や身近な場所での介護予防、重層的な認知症支援など各種事業を展開しました。

ア 地域包括ケア推進事業

◆在宅医療マップの作成 (8,500 部) 【新規】

- ・神奈川区内の在宅医療に係る資源 (訪問診療、歯科診療、薬局、地域ケアプラザ等) の紹介や、在宅医療に関する基礎知識を掲載したマップの作成・配布

◆区民向け講習会の開催 (2 回 (11 月、2 月)・延べ 507 名参加) 【新規】

- ・身近な場所で在宅医療等に関する知識を習得できる講習会の開催

◆地域ケア会議の実施 (通年: 計 39 回開催)

- ・高齢者に関する個別支援、地域課題について検討



神奈川県在宅医療マップ

【参考】各地域ケア会議の実績内訳

	個別レベル地域ケア会議	包括レベル地域ケア会議	区レベル地域ケア会議
主催	地域包括支援センター	地域包括支援センター	区役所
実施回数 (30 年度)	24 回	14 回	1 回
主な参加者	地域包括支援センター職員、医師、看護師、薬剤師、ケアマネ、デイサービスなどの事業者、民生委員、区社協など		三師会、訪問看護、ケアマネ、区社協、各地域 C P、病院など

イ 介護予防普及啓発事業

◆介護予防普及啓発講演会 (5/31・神奈川公会堂・218 名参加)

- ・「フレイルは要介護状態の分かれ道」(講師: 筑波大学大学院 山田実氏)

◆介護予防ボランティア「健康アップ協力隊」研修会 (神奈川公会堂等・延べ 189 名参加)

※ 4 回 1 コース

① 6/19 「神奈川区の介護予防の取組と体力測定の内容について」

② 6/28 「高齢期の栄養と食事について」

(講師: 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 熊谷直子氏)

③ 7/12 「体力測定における運動のワンポイント指導について」

(講師: かながわ健康財団 高垣茂子氏)

④ 7/17 「高齢期の体の変化と必要な体力づくり、体力測定の実践」

(講師: かながわ健康財団 高垣茂子氏)

◆介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」

- ・地域の身近な場所である町内会館等において、健康の客観的指標である「体力測定」を取り入れた介護予防講座の開催（17か所・延べ362名参加）【拡充】

◆介護予防啓発物品の作成

- ・高齢者の低栄養防止を目的としたランチョンマットの作成・配布（5,000枚・9月）【新規】



低栄養防止ランチョンマット

ウ 認知症高齢者支援事業

◆「認知症高齢者みまもり協力店」パンフレットの印刷

- ・認知症高齢者を温かく見守る「みまもり協力店」をより周知・拡充していくため、新たにパンフレットを作成・配布。（5,000部・3月）【拡充】

◆「高齢者みまもりキーホルダー」の作製

- ・元気なうちから安心して過ごせるよう、緊急時の身元確認用「みまもりキーホルダー」を追加で作製し（作製数：8,000個・7月）、区内全ての地域ケアプラザ・地域包括支援センターで配付。※配付数：894個（累計2,687個）

⑬ 元気づくりステーション事業（健康福祉局区配）

介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できる「元気づくりステーション」の活動を、地域包括支援センターと連携・協力しながら支援しました。

- ・活動状況： 地域包括支援センター単位で1～5か所にて実施
- ・内 容： 体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など

（平成31年3月現在 21か所）

⑭ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局）

・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）

横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。

・在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修（医療局区配）

・介護予防・日常生活支援総合事業（健康福祉局事業）

介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業。従来の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。

・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）

主に生活支援・介護予防に重点的に取り組む事業として、生活支援コーディネーター等が地域住民など多様な主体と連携しながら、日常的家事の支援、交流・居場所づくり、見守り活動などの立ち上げや運営の支援に取り組んでいます。

・各区地域包括ケア行動指針推進費（健康福祉局区配）

(5) かながわ安心子育て支援事業 1,894,703 円 (予算額 2,282,000 円) こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みました。また養育者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を支援しました。

ア 児童虐待防止対策事業

◆児童虐待・DV 防止連絡会 (年3回) 【拡充】

第1回 6月5日 13名参加

第2回 10月30日 研修を兼ねた映画上映と講演会実施

映画「みんなの学校」全ての子どもに居場所のある学校を目指した公立小学校のドキュメンタリー

講師 木村 泰子氏 (元大空小学校校長) 182名参加

第3回 1月29日 17名参加

◆子育て講演会 (年2回)

2歳児向けの子育ての具体的な方法についての講演会を実施

第1回 8月28日 30名参加

第2回 1月29日 29名参加

◆養育支援連携会議 (5地区 各1回) 延 89名参加

開催地区 (神西浦島丘、白幡、新子安、大口・七島、神之木・西寺尾)



子育て講演会

イ 親教育プログラム

◆0歳児向け (4回コース 2回)

子育ての不安や悩みを持つ養育者に対し、子育てのノウハウを具体的に学べる講座を実施

6月18日～7月9日 10名参加

1月28日～2月25日 9名参加

ウ 子育て支援教室

障害児を持つ養育者同士の交流会を実施 (年3回)

エ 妊産婦等アドバイザー事業

妊娠期からの相談対応 (週2日)

オ ひとり親家庭相談支援事業

児童扶養手当の現況届時などに相談員を配置。

カ DV・虐待心理相談事業

カウンセリングを実施 (月2回)

キ 児童扶養手当現況面接一時託児事業

児童扶養手当現況届集中面接期間に一時託児を実施。

⑮ 児童虐待防止啓発地域連携事業 (こども青少年局事業)

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めました。

(6) かながわ子育てかめっ子支援事業 5,284,846 円 (予算額 5,808,000 円)

こども家庭支援課

こどもの健やかな成長を見守る地域をつくるため、小学生、妊娠期、出産後の様々な機会を通して子育ての啓発とネットワークづくりを行いました。また地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場づくり「すくすくかめっ子事業」について、運営を支援しました。

ア 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜開催
(毎月1回 計12回)

イ 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校の小学5年生を対象に、
0歳児の母子の協力を得て、
児童が乳児とふれあう講座を実施。(5校)



赤ちゃんふれあい学級

ウ 養育ネットワーク事業

0歳児の育児教室 16か所 (月1回程度)

エ 外遊び活動支援事業

◆外遊び体験イベント (3回/コース・年2回)

内容	場所	日程	参加者数 (人)
春夏編	大口駅前公園	5月30日	102
	神大寺中央公園	6月5日	126
	星野町公園	6月13日	44
秋冬編	羽沢町公園	9月28日	54
	反町公園	10月29日	208
	子安台公園	10月31日	42

◆外遊びネットワーク交流会 (年2回)

外遊び支援の担い手を対象に、横のつながりをつくり主体的な活動を支援することを目的とした交流会を実施

5月28日 18名参加

1月28日 27名参加

◆外遊びアドバイザー派遣【新規】

区内の外遊び活動団体が協力して開催する外遊びイベントの企画・調整をアドバイザーに依頼し「外そとあそび市」を3回実施

場所	日程	参加者数 (人)
反町公園	6月1日	200
三ッ沢公園	11月13日	128
星野町公園	11月16日	113

◆外遊びリーフレット作成【新規】

外遊びの魅力を伝えるリーフレットを作成



外遊びリーフレット

オ すくすくかめっ子事業（44会場）

地域ぐるみで実施される親子のたまり場づくりの活動支援、ネットワークの拡充を実施

内容	会場	日程	参加者数（人）
全体交流会	神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ	6月18日	34
方面別交流会	神之木地域ケアプラザ	7月9日	35
方面別交流会	神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ	7月30日	18
方面別交流会	菅田地域ケアプラザ	9月11日	10
方面別交流会	六角橋地域ケアプラザ	9月20日	12
全体研修会	神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ	2月4日	57

カ 子育て情報提供事業

子育て応援マップ（13,000部）、子ども・家庭支援相談案内（6,000部）を作成

キ 出張子育て拠点事業（2か所 4,461名）

地域子育て支援拠点へのアクセスが悪い地域に週1回出張広場を実施（2か所）

会場	開催日数	参加者数（人）
沢渡三ツ沢地域ケアプラザ	49回	2,685
羽沢長谷自治会館	50回	1,776

ク 子ども支援調査事業【新規】

学齢期の児童に関わる支援者を対象にアンケート調査を実施し、気になる子どもや保護者の様子、必要な支援について把握しました。

調査結果では、気になる子どもには家庭や学校以外でほっとできる場の確保、気になる保護者には悩みを聞いてもらえる相談相手が必要であることが分かりました。

実施時期：平成30年10月22日～12月10日

調査対象：学齢期（小学生や中学生）の子どもに関わる支援者（86団体）

標本数：629標本 回答数：366件（回答率58.1%）

⑩ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めました。

参考：平成30年4月～平成31年3月の実績 訪問員59名、訪問件数1,854件

⑪ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

未就学児とその保護者、および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」（NPO法人 親がめ が運営）があります。

参考：平成30年4月～平成31年3月の実績 33,233名

(7) 市立保育所地域交流事業 1,509,357円(予算額1,864,000円)

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、土曜日の園庭・施設開放及びランチ交流等を実施しました。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行いました。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図りました。

ア 食育推進事業

- ◆入所児童の保護者を対象に給食試食、地域の親子を対象にランチ交流を実施
 - *ランチ交流 41回

イ 地域交流事業

- ◆園庭や施設を地域に開放し交流を実施

ウ 保育施設等情報パンフレット作成

- ◆神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成

エ 保育園連携強化事業【新規】

- ◆民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会や研修会を行い、保育の質の向上を図りました。
 - *合同園長会の開催(4/24、6/27、8/1、10/11、12/5、2/19)



地域交流事業

菅田保育園の民間移管について

平成30年4月1日付で、菅田保育園が民間移管されました。

★移管後の保育園 「あおぞら菅田保育園」(運営法人 社会福祉法人あおぞら)

【移管後のアフターフォローについて】

移管後はアフターフォローの一環として、市立保育所及びこども青少年局職員が一定期間移管園を訪問し、法人職員の相談に応じ、助言等を行いました。

- ・前菅田保育園園長による訪問(月1回)
- ・菅田保育園に勤務していた市立保育所保育士による訪問(1人2回程度)
- ・嘱託職員(市立保育所園長経験者)による訪問(月1回程度)

⑱ 保育所地域子育て支援事業(こども青少年局区配)

全市共通事業(育児相談、育児講座、平日の園庭開放等)に加え、土曜日の園庭開放を実施し、父親の育児参加等を支援します。

⑲ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築(こども青少年局区配)

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

⑳ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消のため、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュが中心となって、電話や面談等により保護者へ寄り添った、きめ細やかな相談、支援を行いました。

【平成 31 年 4 月開所】

認可保育所（5園：315人）

(ア)キッズパートナー妙蓮寺（西大口）	定員 60 人
(イ)コビープリスクールかたくら（片倉二丁目）	定員 60 人
(ウ)横浜大口雲母保育園（神之木町）	定員 60 人
(エ)きゃんばす東神奈川保育園（東神奈川二丁目）	定員 75 人
(オ)なないろきっど保育園※（入江一丁目）	定員 60 人

※横浜保育室からの認可移行園

(8) 子ども・青少年元気づくり支援事業 360,000 円 (予算額 360,000 円)

地域振興課

学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年が生き生きと活動、活躍できる機会をつくりました。

ア 青少年パワー発揮事業

◆B-SKY FES2018 in Summer (9/2 実施 約 750 名参加)

- ・ 青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント実施

(9) 青少年育成費 3,048,000 千円 (予算額 2,850,000 円)

地域振興課・こども家庭支援課

地域社会で青少年が健やかに成長できるよう、各種行事や体験を通して青少年健全育成に取り組む関係団体の活動を支援するとともに、各団体間の連携を図りました。

ア 青少年指導員事業

◆横浜市が委嘱する青少年指導員の活動に対する支援

- ・ ペットボトルロケット大会 (7/1 実施 67 名参加)、小学校音楽フェスティバル (12 月) 等
- ・ 青少年指導員を対象とした研修会等
- ・ 社会環境実態調査、各種啓発・パトロール活動



ペットボトルロケット大会

イ 学校・家庭・地域連携事業

◆中学校区ごとに設置された学校・家庭・地域による委員会の活動に対する支援

ウ 青少年活動推進事業

◆子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業や青少年育成者研修事業に対する支援

(10) スポーツ振興事業 3,643,695 円 (予算額 3,720,000 円)

地域振興課

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体を支援しました。

ア スポーツ推進委員活動費

- ◆少年少女ソフトボール大会（8月4日・5日）、ミニバスケットボール大会（11月25日・12月2日）への支援
- ◆区内または市内全域で実施されるスポーツ大会への協力
 - ・横浜マラソン大会（10月28日）、世界トライアスロンシリーズ横浜大会（5月12・13日）、横浜シーサイドトライアスロン大会（9月30日）、区ロードレース大会等
- ◆スポーツ推進委員を対象とした研修会の実施（5月13日）
- ◆地域における運動会等のスポーツイベントの運営や協力
- ◆機関誌の発行



ミニバスケットボール大会

イ 区民大会等各種事業補助

- ◆各種スポーツ大会、講習会の支援
 - ・野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引

ウ その他スポーツ支援

- ◆プロスポーツチーム（横浜ビー・コルセアーズ、横浜FC）と連携した小学生出前スポーツ教室（サッカー・バスケットボール・講話）の開催

(11) 障害者支援事業 1,585,697 円 (予算額 1,559,000 円)

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりがその人にふさわしい地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援しました。

ア 花のデリバリー (障害者地域作業所等の活動支援)

◆花のデリバリー

- ・フラワーアレンジメントの配達を委託 (通年 48 週)

◆障害者地域作業所等の活動支援

- ・反町駅前ふれあいサロン等での自主製品展示を支援 (通年)
- ・区役所販売支援 (通年 週 1 回)、障害者週間 (12 月) 等での啓発

イ 障害児者の健康づくり講習会 【拡充】

◆健康づくりのための研修の開催

- ・障害特性や個別性に応じた歯科口腔ケア技術の向上のための訪問指導 (作業所 6 か所)

ウ 精神障害者の退院促進や在宅生活継続に向けた支援

◆精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

- ・生活支援センター、基幹相談支援センター等、関係機関とのケースカンファレンスの開催 (随時)
- ・精神保健福祉関係機関との連絡調整会議 (7/4 開催 15 名参加、)
- ・精神保健福祉関係者の連携強化のための研修会 (1 回)

エ 関係機関との連携・支援 【拡充】

◆障害者支援を行う関係機関等のスキルアップ・ネットワーク構築支援

- ・関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会 (1 回)

◆啓発・情報発信

- ・神奈川区地域自立支援協議会ホームページを活用した情報提供 (随時)
- ・障害福祉の社会資源をまとめた冊子の作成・配布 (2,500 冊)



障害者作業所等紹介

ガイドブック「まちでくらす」

(平成 31 年 3 月発行)

(12) 放課後児童健全育成連携強化事業 242,910 円 (予算額 300,000 円) こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の「質の向上」を図るため、放課後事業に従事する職員等を対象に研修を実施しました。

また、クラブ職員が安心して活動できるよう、現場を支える運営主体向けの研修を開催し、放課後事業の連携を強化し、質の向上と安定運営を図りました。

ア 職員向け研修

研修名	内容	実施日	参加人数
養育支援研修	児童虐待等への対応方法	6月26日	延べ36
救命救急講習	AEDや心肺蘇生等の実技	6月26日	
発達障害理解研修	発達障害など配慮を要する児童への対応方法	9月26日	62
感染症対応研修	感染性胃腸炎等が発生した場合の対応方法等	11月22日	26
支援能力向上研修	日常の支援業務に活かせる実技	12月12日	23

イ 運営主体向け研修【新規】

研修名	内容	実施時期	参加人数
クラブ運営管理	人材確保と人材育成、クラブ運営についての研修・意見交換	6月17日	16
危機管理	事故を防止する取組や事故発生時の対応についての研修・意見交換	2月11日	23

【対象】 放課後児童健全育成事業クラブ数 (平成31年3月31日現在)

放課後キッズクラブ 17 か所、放課後児童クラブ 17 か所

㉑ 人材育成研修委託事業 (こども青少年局事業)

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を委託して実施しました。

㉒ 放課後キッズクラブ施設整備事業 (こども青少年局区配)

小学校施設を活用した「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安心で快適な放課後の場所をすべての子どもたちに提供するため、令和元年度末までに全ての小学校 (19校) に放課後キッズクラブを整備します。

【参考】 放課後キッズクラブ整備数: 17か所 (平成31年3月31日現在)

平成31年3月開設: 神大寺小学校、平成31年4月開設: 三ツ沢小学校

平成31年度以降の整備予定: 南神大寺小学校

㉓ 放課後児童クラブ移行支援事業 (こども青少年局区配)

条例の基準に適合するように、放課後児童クラブの分割・移転等を支援しました。

Ⅲ 魅力にあふれ活力あるまちづくり 18,256,486 円

(予算額 17,054,000 円)

- (13) 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- (14) かながわ健康づくり応援事業 重点
- (15) わが町かながわ商店街魅力発信事業
- (16) 花いっぱい事業
- (17) かながわエコスクラム事業
- (18) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- (19) 放置自転車等対策事業
- (20) 動物適正飼育推進事業
- (21) かながわ魅力向上事業
- (22) 市都市計画マスタープラン・神奈川区プラン改定業務
- (23) 文化活動支援事業

自主企画事業費以外で実施した主な事業

- ④ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ⑤ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ⑥ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ⑦ 地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ⑧ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）
- ⑨ 身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ⑩ 歩行者等動線整備事業（都市整備局区配）

(13) 神奈川区資産「わが町かながわにとっておき」活用事業 ☆重点事業

2,049,466 円（予算額 2,241,000 円）

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町かながわにとっておき」を活用し、区民の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みました。

- ◆「わが町かながわにとっておき」散歩ガイドの改訂・活用
ロゴマークをあしらうとともに、一部掲載内容を更新し 33,000 部を発行（平成 31 年 3 月）
- ◆「わが町かながわにとっておき」を活用したイベントの実施等
若いうちから「かながわ愛」・「地域愛」をはぐくみ、将来にわたって神奈川区への定住を促進するため、次世代を担う区内小学生をターゲットとしたイベントを実施
 - ① かめ太郎 まち自慢新聞コンテスト
実施期間：平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月
応募総数：285 点（著者数 412 名、7 校）
入賞作品：19 点
 - ② とっておきを巡るバスツアー
実施日：平成 30 年 11 月 17 日
見学施設：日本味噌(株)・横浜醤油(株)
参加者数：18 組 36 名
※地域団体に組織する「わが町かながわにとっておき実行委員会」が主催
- ◆第 10 回「わが町かながわにとっておき」写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展の実施
募集期間：平成 30 年 6 月～10 月
応募総数：113 点
入賞作品：10 点
巡回展：平成 31 年 2 月～3 月



「わが町かながわにとっておき」
写真コンテスト
平成 30 年度 最優秀作品

(14) かながわ健康づくり応援事業 2,997,672 円 (予算額 2,794,000 円)

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸を目指し、誰もが生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、区民のライフステージに応じた健康づくりの取組を支援するため、保健活動推進員等と連携して、健康づくり事業を展開しました。

ア さあ！歩こう健康ウォーキング事業（保健活動推進員等と協働）

◆ウォーキングイベント

保健活動推進員等と協働したウォーキングイベントの実施（11月6日：98名、3月28日：169名）



さあ！歩こう健康ウォーキング
(3月28日 於：神大寺小学校)

イ 健康づくり推進事業

◆情報発信

・地域ケアプラザ等に設置した健康掲示板による情報発信（10回）

◆健康づくりの啓発

・健康かながわ応援月間（10～11月）

区役所各課、関係機関・団体、地域、企業等に呼びかけ、幅広い世代を対象とした取組を登録（27団体、98事業）、広報よこはま神奈川区版9月号、区ホームページなどでPR。

また、ロゴマーク入りのぼり旗などの啓発物品を作成し、区民に健康かながわ応援月間を周知。

・区民まつり 健康ワクワク広場（10月7日：5,385名）

・記念講演会「人生を歩ききるための体づくり

～今からできる姿勢と運動」（10月17日：188名）

・健康づくりキャンペーン（11月6日：149名）

◆地域における健康づくり活動の支援

・地域で行う区民向けロコモ予防啓発講座の開催支援（7回：143名）

◆子育て世代の健康づくり

・両親教室の参加者向けに健康的な生活習慣の啓発実施（12回：171名）



健康かながわ応援月間
ロゴマーク入りのぼり旗

ウ 食育普及事業

◆食育ミニ講座

3歳児健康診査時に併せて参加者に食育講座を実施（24回：1,071名）

◆保育園・小中学校等との連携による食育推進

保育園や小中学校等の食育関係者による食育交流会を実施（8月3日：36名）

◆地産地消野菜レシピ集を活用した野菜摂取啓発

食生活等改善推進員（ヘルスマイト）と連携し、地産地消レシピ集（3,000部増刷）を活用しながら、野菜をおいしく上手にとれる工夫を伝える出前講座の実施（10回：350名）



(15) わが町かながわ商店街魅力発信事業

1,743,957 円(予算額 2,061,000 円)

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、商店街を含めたコミュニティの活性化を図りました。

ア 商店街ラリー事業

神奈川区の商店街を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作ることで、商店街の魅力を発信しました。

㊴ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

㊵ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）

商店街が防犯パトロール活動を実施している場合、商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成する事により、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図りました。

(16) 花いっぱい事業 1,398,000 円 (予算額 1,450,000 円)

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作りました。

ア 球根・花苗の配布、花壇の設置

- ◆ 区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布し植栽を実施しました。
- ◆ 公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置しました。

イ 花苗の育成

- ◆ 公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を行いました。

ウ ボランティア団体の交流の促進

- ◆ 土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流を促進し、協力体制を確立しました。



公園愛護会等との花苗の育成活動

(17) かながわエコスクラム事業 382,537 円 (予算額 452,000 円)

区政推進課

区民・事業者・区役所の協働（＝スクラム）により、地球温暖化対策に取り組みました。エコ講座の開催、イベントでのエコ活啓発活動の実施、カーボン・オフセットの取組への支援、緑のカーテンの普及啓発を進めました。

ア エコ活啓発事業

- ◆横浜市中央卸売市場と連携した地産地消講座の開催（8月3日）
- ◆環境に配慮した取組を行っている施設の見学ツアーの開催（8月8日）
- ◆イベントでのエコ活啓発（8月5日、9月1日 計2回）
- ◆カーボンオフセットへの取組の支援・PR（6月3日、9月1日、10月7日 計3回）

◆横浜FC協働事業

- ・区民DAY 6月3日 来場者数 8,038 名（うち区民 2,030 名）
- ・エコパートナーDAY 出展（9月1日）

イ 緑化推進事業

- ◆区内公共施設での緑のカーテンの普及啓発（5月・16施設）
- ◆区役所での緑のカーテン設置（6月～10月）



施設見学会の様子(環境科学研究所)

②⑥ 緑化推進事業（環境創造局区配）

地球温暖化対策の一環として、区内市立小学校・特別支援学校・保育所での緑化の推進に取り組みました。

- ◆区内市立小学校・特別支援学校・保育所に緑のカーテンを設置（5月・21施設）

(18) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 2,864,784 円

(予算額 3,200,000 円)

地域振興課

「ヨコハマ 3 R 夢プラン」、特に 3 R のリデュースを推進するため、食品ロスの削減、生ごみの水切り、土壌混合法等の普及・啓発を実施しました。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指しました。

ア 地域美化活動支援事業

- ◆地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- ◆「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）（9月26日）



マナー違反一掃作戦

イ クリーンタウン横浜事業

美化推進重点地区等の清掃委託

- ◆ J R 東神奈川駅及び京急仲木戸駅周辺（シルバー人材センター、美化推進員）
- ◆ 横浜駅西口鶴屋町、京急子安駅、J R 新子安駅、東急反町駅（区内障害者地域作業所）

ウ 不法投棄防止対策事業

- ◆不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- ◆地域と連携した不法投棄への対応

エ ヨコハマ 3 R 夢啓発事業

- ◆地域まつり等での啓発
- ◆子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- ◆保育園や小学校等での出前授業
- ◆広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- ◆資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・不適正排出事業者の調査・指導・啓発
- ◆ヨコハマ 3 R 夢推進功労者の表彰
- ◆喫煙禁止地区における地域と連携した啓発
- ◆喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
- ◆リユース食器利用促進に向けた費用補助



保育園での出前講座

(19) 放置自転車等対策事業 645,534 円 (予算額 650,000 円)

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図りました。

ア 自転車マナーアップ事業

- ◆ 広報での駐輪場の利用促進
- ◆ 自転車利用のマナーアップ啓発

イ 自転車等放置防止推進協議会への助成

- ◆ 9 地区の協議会に対し活動費を助成



動物の適正飼育について普及啓発及び地域猫活動の支援を行いました。

ア 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

◆飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等にチラシ・DVD の配布やセミナー等の実施、ふんトラブルの解決方法を啓発するため猫用トイレの配布、神奈川区猫ボランティアの派遣などの支援を行いました。

- ・町内会等への対応実績 10 件
- ・神奈川区猫ボランティアの派遣 6 件
- ・神奈川区猫ボランティア等への捕獲オリの貸出 4 件

◆飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育管理が不適切な飼育者に対して不妊去勢手術の指導

◆広報よこはま区版 1 月号、2 月号で啓発を行いました。

イ 犬の適正飼育啓発事業

◆犬の適正飼育方法の啓発チラシやトイレパックを狂犬病予防注射出張会場、窓口等で配布
啓発用トイレパック 1,250 パック配布しました。

啓発チラシ 1,506 枚配布しました。

◆飼育管理が不適切な飼い主に対しての指導

◆広報よこはま区版 3 月号で啓発を行いました。

◆犬のしつけ方で困っている飼い主へしつけ方教室等の開催

神の木公園（10 月 13 日：7 名参加）、三ツ沢公園（3 月 10 日：6 名参加）で実施しました。

㉗ 地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援しました。

手術等支援対象活動組織には、登録された飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をしました。

㉘ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成しました。

(21) かながわ魅力向上事業 4,283,163 円 (予算額 2,025,000 円)

区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」まちの魅力づくりに取り組みました。

ア 地産地消推進事業

- ◆横浜市中央卸売市場本場と連携した地産地消イベントの開催（8月3日）【再掲】
- ◆レシピ集などを活用した地産地消の魅力発信（通年）

イ 歴史活用事業

- ◆旧東海道・神奈川宿等区内歴史資産を活用し、区の歴史の魅力発信
子供を対象としたPR活動の実施
 - ・小学校の放課後キッズクラブへの歴史出前講座（2月18日、3月6日）
 - ・かながわ宿場まつりへの参加（3月1日～15日）
 - ・老朽化した神奈川宿歴史の道ガイドパネル（4か所）の補修（1月）
- ◆歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぼ」のPR・活用（通年）

ウ 歩行者等動線整備事業（下記③⑩の関連事業）

- ◆暫定通路整備に伴う国有地及び市場用地の土地使用料
- ◆周辺環境整備に係る委託料

②⑨ 身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局支配）

身近に感じる地産地消を推進するため、区民と協働して直売所マップを作成し、発行しました。

- ◆区民と協働による直売所マップの作成、発行（3月）
- ◆レシピ集などを活用した地産地消の魅力の発信【再掲】

③⑩ 歩行者等動線整備事業（都市整備局支配）

コットンハーバー地区において、防災性および利便性向上の観点から、周辺道路の供用開始までの間、横浜駅方面へ抜ける暫定通路を整備しました。

(22) 市都市計画マスタープラン・神奈川区プラン改定業務

644,548 円 (予算額 920,000 円)

区政推進課

横浜市都市計画マスタープラン神奈川区プランは、平成 15 年 12 月に策定され、その後 10 年以上が経過しており、全体構想の改定も踏まえて、平成 30 年度の改定を目指して作業を行いました。平成 30 年度は、改定原案の意見募集と、これを踏まえた改定案の作成等を行い、1 月の都市計画審議会にて可決され、3 月に区プランを改定しました。

(23) 文化活動支援事業 997,000 円 (予算額 1,000,000 円)

地域振興課

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援するとともに、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実しました。

ア 文化協会補助金

- ◆区伝統芸能祭 (民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい)
- ◆区民音楽祭 (コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会)
- ◆区文化展 (洋画、日本画、写真、書道、文芸、手芸、工芸、華道、茶道、陶芸の展示会)
- ◆春のコンサート
- ◆ちいさな美術館

イ 読書活動推進事業

- ◆読書活動関係者による講演会 (1 月 20 日)
- ◆読書活動関係機関連絡会 (1 回)

IV 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり 18,626,314円

(予算額 21,105,000円)

- (24) 地域力アップ推進事業 重点
- (25) 地域福祉保健活動推進・支援事業
- (26) ふれあい活動支援事業
- (27) 区民協議会支援事業
- (28) 神奈川区民まつり事業
- (29) 区民活動・生涯学習支援事業
- (30) 民生委員・児童委員活動支援事業
- (31) 地域活動支援事業

自主企画事業費以外で実施した主な事業

- ① 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ② ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業（健康福祉局区配）

(24) 地域力アップ推進事業 2,699,032 円 (予算額 3,536,000 円) ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため「地域力アップ推進事業」を実施しました。

ア 地域人材マッチング事業 (通年)

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する地区連合等（大口七島地区連合町内会、六角橋自治連合会、二ツ谷町会）に対し、住民アンケートの実施や回答者との交流会の開催を支援しました。

また、平成 29 年度に実施した地区についても、地域活動へつながるよう継続的に支援しました。三ツ沢中町町内会では、アンケート回答者への声かけを行い、町内会ホームページの立ち上げや地元小学校の運動会で使用する衣装の製作等、地域活動の担い手の発掘に結びつけることができました。

イ 地域情報紙「ご近所通信」の発行 (3回 5月・10月・3月)

協働による地域づくりの事例や地区担当チームを区民に紹介する地域情報紙を発行



「ご近所通信」の発行(5月分)

ウ 地区担当チーム向け地域支援研修 (4回)

- ・ 転入職員向け基礎研修 (4月6日、4月9日)
- ・ 地域力アップ研修 (8月27日、9月27日)

エ 地域力支援システム運用事業 (通年)

地区担当チームの地域支援に活用する地域情報を収集、整理する地域力支援システム「神奈川区GIS」を運用しました。

③ 元気な地域づくり推進事業 (市民局区配)

自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や、区民の自主的な地域活動に対する経費補助などを行う「かながわ地域支援補助金事業」を実施しました。

また、区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働のまちづくりについて学ぶ「神奈川区地域づくり大学校」を実施しました。

◆かながわ地域支援補助金事業

交付決定数：地域スクラムコース 11 事業、区民力発揮コース 16 事業 計 27 事業

◆地域づくり大学校の実施 (全6回)

日程：9月～2月

対象：現在、自治会町内会等の地域活動に関わっていて、将来も、自治会町内会等で活動したい方

場所：区役所、現地見学など

(25) 地域福祉保健活動推進・支援事業 3,125,275 円（予算額 3,786,000 円） 福祉保健課

「誰もが住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らせるまちをつくろう」を基本理念として、平成 28 年度から 5 年間で計画期間とする「かながわ支え愛プラン（第 3 期神奈川区地域福祉保健計画）」を推進しました。平成 30 年度は中間年にあたるため区計画の中間振り返りを行いました。結果は第 3 期計画の推進と第 4 期計画の策定につなげていきます。

◆第 3 期計画の推進

＜策定・推進会議＞

- ・区計画の推進・進捗確認の場である「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（6月27日、11月21日、3月19日）
- ・21 地区で地区の目標や課題等を話し合う場である地区別計画推進会議を開催（各地区概ね 1～3 回）

＜地域別グループへの活動支援＞

- ・区職員、区社協及び地域ケアプラザ職員で構成する地域別グループによる各地区別計画推進の支援（通年）
- ・地域別グループが 4 期計画の策定について話し合う、地区別計画情報交換会の開催（1月25日）
- ・地区別計画推進アドバイザーの活用（4回）

＜報告会・広報＞

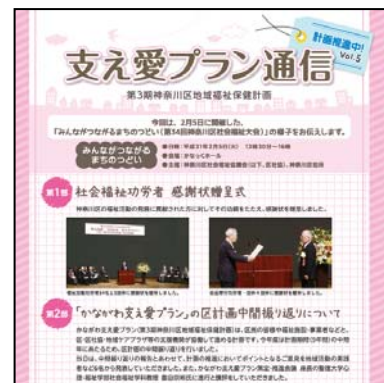
- ・計画の取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月5日）
中間振り返りでインタビューした団体の代表者による講演
- ・広報紙「支え愛プラン通信」の発行（10月、3月）
- ・広報よこはま区版を活用した各地区の取組紹介（6月（神之木・神奈川）、9月（三枚・新子安）、12月（羽沢・六角橋）、4月（白幡））



みんながつながるまちのつどい

◆第 3 期計画 区計画の中間振り返り

- ・当事者団体等へのインタビュー（6月～9月、30 団体）
- ・中間振り返り報告書完成（12月）
- ・中間振り返りの報告（2月～3月）
区連会（1月）、民児協（2月）、
支え愛プラン通信（3月発行分）（再掲）、
みんながつながるまちのつどい（2月5日）（再掲）



支え愛プラン通信

(26) ふれあい活動支援事業 1,743,345 円 (予算額 1,821,000 円)

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援しました。

- ◆ふれあい活動員全員を対象とする研修会（12月14日、約350名参加）
地区の事例発表（3地区）及び見守り活動をテーマとした静岡福祉大学教授西尾敦史氏による講演を実施
- ◆各地区社会福祉協議会会長及びふれあい活動地区まとめ役を対象とする全体会議（8月2日）
- ◆ふれあい活動支援補助金の交付（19団体）

㊸ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業（健康福祉局区配）

市が保有する75歳以上のひとり暮らし高齢者等の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげる事業です。

《平成30年度対象者数》 新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 1,300人

(27) 区民協議会支援事業 464,567 円 (予算額 659,000 円)

区政推進課

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動（運営委員会、各部会、区民のつどい、地域のつどいなどの会議・行事）に対して支援を行いました。

- ◆機関紙「こぶし」第24号発行（7,500部）（5月）
- ◆第19期「活動の成果」発行（750部）（6月）
- ◆区民のつどい（第19期最終報告）（6月24日）
- ◆総会（第20期の発足）（7月10日） ※第20期区民協議会委員：37名
- ◆第20期部会活動
 - ・自治会町内会の後継者問題と地域活動の情報伝達
 - ・たばこのポイ捨て問題等の生活環境
 - ・災害時対応
- ◆機関紙「こぶし」第25号発行（6,300部）（10月）
- ◆区長懇談会（11月6日）
- ◆地域のつどい
 - ・白幡地区（2月15日）
 - ・青木第二地区（2月16日）
 - ・神西地区（3月3日）
 - ・羽沢地区（3月10日）
- ◆施設見学会（3月5日）
見学先：陸上自衛隊武山駐屯地（横須賀市御幸浜）

(28) 神奈川県民まつり事業 4,000,000円(予算額4,000,000円)

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川県民まつりを支援するとともに、環境問題に配慮した取組(ごみの分別徹底やリユース食器の利用促進・回収率向上、カーボンオフセットの取組等)について支援しました。

- ◆ 実行委員会や各運営部会との連絡調整
- ◆ 会場等の利用支援
- ◆ 区民まつりの実施：10月7日(日)

(29) 区民活動・生涯学習支援事業 3,085,778円(予算額3,598,000円)

地域振興課

地域の問題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供しました。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行いました。

ア 人材育成事業

- ◆ 生涯学習講座
- ◆ 登録団体・助っ人バンク(人材バンク)対象のスキルアップ講座(8月2日)
- ◆ 助っ人バンク講師を活用した体験講座(1月17日～2月7日(全4回))

イ 区民活動支援センター事業

- ◆ 相談・コーディネート・情報発信
 - ・ ボランティア相談、助っ人バンク(人材バンク)を活用したコーディネート
 - ・ 情報紙「ぐるーばる・あい」の発行(年6回)
 - ・ 活動団体PR展(パネル展)の開催(10月1日～10月12日)
 - ・ 地域の居場所・助っ人バンク交流体験会の開催(2月23日)

◆ 地域支援

- ・ 地域課題解決や情報共有などを目的に施設間連携会議の開催(年2回、7月12日、12月3日)
- ・ 地域施設向けに地域活動担い手のコーディネート力向上のための研修(10月10日)
- ・ 地域施設間連携会議プロジェクトによる神奈川県施設ガイド「かながわく」の作成(3月)
- ・ 他施設との連携等による地域デビュー講座(5月11日～6月8日(全5回)、10月25日～12月6日(全5回))



他施設との連携による地域デビュー講座

ウ かながわ湊フェスタ開催事業

- ◆ かながわ湊フェスタ2018の開催(5月20日)
 - ・ 区内で活躍する市民活動団体が一堂に会し、区民に対して活動PRを実施
 - ・ 市民活動団体同士の連携による新たな活動のきっかけづくり
 - ・ 神奈川県の人やまち、環境など多面的な魅力を発信し、神奈川県への愛着感を醸成

(30) 民生委員・児童委員活動支援事業 **807,081 円 (予算額 915,000 円)** **福祉保健課**

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげました。

◆訪問活動用物品の購入

民生委員・児童委員が高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入（ローションティッシュ）

◆民生委員アドバイザー派遣

定年等で退任した元民生委員を希望する地区民児協に地区民児協運営等のアドバイザーとして派遣（11回派遣）

◆新任委員研修の実施【新規】

一斉改選後2年目となる新任委員を対象に、「傾聴基礎講座」を実施（3月10日、11日）

(31) 地域活動支援事業 **2,701,236 円 (予算額 2,790,000 円)** **地域振興課**

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行いました。

ア 自治会町内会長感謝会

- ◆区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施（3月）
- ◆5年以上の会長在職者について区長表彰を実施（3月）

	平成 29 年度	平成 30 年度
自治会町内会数	180	178
被表彰者数	29	25

イ 自治会町内会配送業務

- ◆各自治会町内会に月1回（12月を除く）回覧・掲出依頼物を送付

ウ 自治会町内会加入促進事業

- ◆転入者セットへ同封する加入促進チラシなどを作成

V 共感と信頼の区政運営 24,604,067円（予算額21,135,000円）

- (32) チーム神奈川おもてなし向上事業
- (33) かながわ情報発信・相談事業
- (34) 区民意識調査事業

(32) チーム神奈川おもてなし向上事業 11,550,755千円（予算額7,049,000千円）

総務課

研修等による人材育成を通じて職員のスキルアップを図ることにより、区民サービスの一層の向上を目指しました。

また、庁舎内の環境整備等を図ることにより、区民にとってより利便性の高い区役所づくりを進め、区民満足度の向上を図りました。

ア 人材育成等推進事業

◆神奈川区を知る研修

- ・新採用・転入者研修（4月2日21名、4月13日74名）、
区内見学研修（5月16日、23日、24日計67名）
- ・「チーム神奈川を学ぶ」研修（7月～12月（各月1回）、他課の業務を学ぶ）

◆職員研修

- ・横浜市コールセンター見学研修（7月24日、25日、26日計20名）
- ・CS向上研修（職員向け・責任職向け）
- ・職員スキルアップ研修
- ・行政対象暴力研修

イ 人権啓発事業

◆区職員向け研修

- ・責任職研修（全体研修6月12日、グループ研修7～12月各4回程度）
- ・職員対象研修（5回）

◆区民向け・関係団体向け講演会（各1回）

ウ 窓口連携システムの運用

窓口発券機をネットワーク化し窓口案内の利便性を向上させる神奈川区が独自開発したシステム「かめさぼ」（平成19年12月稼働）の安定運用を行いました。

エ 区庁舎の環境改善

税務課折衝スペースのパーテーションの更新や別館の窓交換などの庁舎環境の改善等を行い、お客様満足度の向上を図りました。

オ サイン再整備

機構改革やレイアウト変更等に併せたサイン再整備に向け調整を行いました。

(33) かながわ情報発信・相談事業 11,365,673 円 (予算額 11,417,000 円)

区政推進課

区の情報を効果的に発信するため、広報よこはま神奈川区版の発行やホームページ等の管理運営を行いました。また、区民の様々な相談ニーズに応えるため、各専門家による特別相談を実施しました。

区の魅力を発信するツールとして、マスコットキャラクター「かめ太郎」や区の花チューリップを活用した各種事業を実施しました。

- ア 広報よこはま区版の発行：110,000 部/月
- イ 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供
- ウ 区民生活マップの発行：12,000 部
- エ 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用
- オ 専門家（弁護士、司法書士、税理士）による特別相談

- ◆法律相談（年 48 回）、司法書士相談（年 11 回）、
税務相談（年 9 回）

- カ 区の花「チューリップ」写生画展の開催

- ◆区内小学生を対象として写生画展を開催、受賞・入賞作品を神奈川図書館・区役所で展示
(神奈川図書館 6 月 2 日～6 月 12 日・区役所 6 月 23 日～7 月 6 日)



区の花「チューリップ」写生画展

(34) 区民意識調査事業 1,642,639 円 (予算額 2,669,000 円)

区政推進課

神奈川区民の生活意識や区政に対する要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的に区民意識調査を実施しました。

【事業内容】

- 実施時期 平成 30 年 9 月 3 日～9 月 28 日
- 対象 神奈川区民 18 歳以上の男女 3,000 名（住民基本台帳から無作為抽出）
- 調査方法 郵送方式（調査票回収については郵送及びインターネットで回収）
- 主な質問項目 定住意向、防災、介護予防・高齢者支援、子育て支援、健康づくり、
地域との関わり等
- 回収結果 1,433 名（回収率 47.8%）

令和元年 第3回

区づくり推進横浜市議員会議

令和元年度 個性ある区づくり推進費

執行状況



令和元年9月4日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 令和元年度神奈川区運営方針	1
2 令和元年度神奈川区編成予算総括	5
3 令和元年度神奈川区編成予算自主企画事業費	6

令和元年度 神奈川区 運営方針

I 基本目標

笑顔でつながる「神奈川区」

～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～

II 目標達成に向けた施策

1 安全・安心なまちづくり

大地震や風水害時の迅速な避難行動や被害軽減につなげられるよう、自助の行動を促す取組を強化します。

また、町の防災組織の取組支援に加え、女性の視点を取り入れた避難所運営等の共助の取組を推進します。

さらに、地域や関係機関と連携を強化して防犯・交通安全対策を進めます。

3 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり

区の魅力を更に発信し、幅広い世代のつながりを育み、次世代に引き継がれていく取組を進めます。

また、地域や事業者の皆様とともに温暖化対策やまちの美化・3Rの推進に取り組めます。



2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

自分の健康に関心を持ち、自ら健康行動をとれるよう、幅広い世代を対象とした健康づくりを推進します。

また、地域で安心して子育てできるよう、親子のたまり場づくりや外遊び支援の充実等に取り組めます。

あわせて、介護予防や認知症高齢者、障害児・者への取組を進めます。

4 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり

地域のつながりや身近な課題を地域で話し合う場づくり等を支援し、地域活動を支える担い手の育成に取り組めます。

あわせて、「かながわ支え愛プラン」(第3期神奈川区地域福祉保健計画)を地域とともに推進します。

III 目標達成に向けた組織運営 ～共感と信頼の区役所～

おもてなしの区民サービス

区民に最も身近な行政機関として、基礎的な行政サービスを正確・迅速に提供し、親切・丁寧に対応します。

チーム神奈川の推進

課題解決に向けて、「チーム神奈川」として各課が連携し、共に考え協力して取り組めます。

また、組織力を向上させるために、ワークスタイル改革に取り組み、職員がやりがいをもって、自らの能力を発揮できる職場環境づくりを進めます。

現場主義の実践

職員一人ひとりが自らの果たすべき責任と役割を自覚し、区民の皆様と向き合い、現場主義を実践するとともに、協働による地域づくりを進めます。

施策1 安全・安心なまちづくり

防災・減災

防災・減災を自らのことと捉え、行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進します。また、女性の視点から新たな課題に対応します。

- ◆ 防災情報ファイル・ハザードマップの作成
- ◆ 神奈川区防災アドバイザー派遣
- ◆ 感震ブレーカーの設置支援
- ◆ 女性の視点を取り入れた避難所運営支援
- ◆ 神奈川区「地域の防災マップ」作成支援



防災マップ作成支援
(地域とのまち歩き)

問 あなたやあなたのご家庭では、災害に対して、
現在どのような対策をしていますか。(複数回答可)

1位	食料、飲料水を3日以上備蓄している	48.7%
2位	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	44.5%
3位	消火器を準備している	41.7%
4位	家族との連絡方法を決めている	33.4%
5位	家具類(タンスや食器棚等)を固定している	30.1%

(資料「平成30年度神奈川区区民意識調査」)



防犯

警察や地域と連携し、留守番電話の設定や迷惑電話防止機能付き電話機・機器の設置を区民に呼びかけ、振り込め詐欺被害防止に取り組みます。

- ◆ 自動通話録音装置の貸出



自動通話録音
装置の一例

振り込め詐欺発生状況
(神奈川区内)

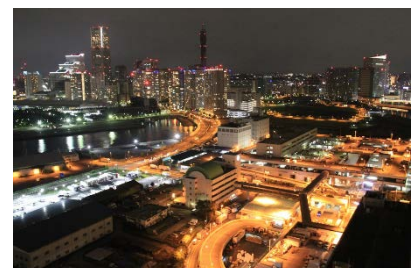
平成30年1～12月
58件 約2億5,700万円

施策3 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり

魅力発信

神奈川区の地域資源である自然や風景・商店街・歴史などの魅力を発信し、地域への関心や愛着を深めます。また、地球温暖化対策やまちの美化・3Rの推進に取り組みます。

- ◆ 「わが町かながわとっておき」を活用したイベントの実施、写真コンテスト及び入賞作品巡回展の開催
- ◆ 商店街スタンプラリーの開催
- ◆ 区内歴史資産を活用した若年層向け啓発講座の開催
- ◆ 地域美化活動「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施



「わが町かながわとっておき」
写真コンテスト
平成30年度 最優秀作品

施策2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

健康づくり

区民の健康寿命の延伸を目指し、誰もが生涯を通じていきいきと暮らし続けられるよう、地域関係団体と連携し、ライフステージに応じた健康づくり活動を展開します。

- ◆ 健康チェック・情報発信コーナーの区庁舎内設置
- ◆ 10～11月の健康かながわ応援月間に集中的な健康関連事業の実施及び関係機関等の取組PR
- ◆ 歯周病予防やオーラルフレイル予防などをテーマにした歯科出前講座を開催
- ◆ ヘルスマイト(食生活等改善推進員)と協働した野菜摂取の普及活動

問 日ごろから健康のために取り組みたいと思うことはありますか。

1位	週2回以上、1回30分以上の運動をする	46.4%
2位	年1回のがん検診を受ける	45.2%
3位	睡眠により休養を十分とる	36.8%
4位	野菜は、毎食一皿食べる	36.5%
5位	年1回の歯科検診を受ける	35.2%

(資料「平成30年度神奈川区区民意識調査」)

子育て支援

児童の健やかな成長を見守る地域づくりを進め、育児力の向上を支援し、児童虐待を防止するための取組を進めます。
また、区内の保育・教育施設による防災対策の取組を支援します。



- ◆ 赤ちゃんふれあい学級、外遊び活動支援事業、すくすくかめっ子事業
- ◆ 子育て講演会、親支援プログラム、子育て支援教室
- ◆ 「防災アドバイザー（仮称）」の派遣による区内の保育・教育施設の実践的な取組の支援



公園での外遊びイベント

高齢者支援

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、在宅医療に関する普及啓発や身近な場所での介護予防、認知症予防の取組を地域と一体になって進めます。

- ◆ 在宅医療に関する区民向け講習会
- ◆ 介護予防出張講座「体力測定de健康アップ講座」
- ◆ 認知症支援に取り組む地域人材の育成



神奈川区
在宅医療マップ

施策4 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり

地域づくり

自治会町内会や地域で活動する団体と区役所が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めます。

また、「かながわ支え愛プラン」（第3期神奈川区地域福祉保健計画）を地域とともに推進します。

- ◆ 地域人材マッチング事業
- ◆ 神奈川区地域づくり大学校
- ◆ 「かながわ支え愛プラン」（第3期神奈川区地域福祉保健計画）の推進及び第4期計画の策定準備

問 あなたは、地域のためにどのようなことであれば関われると思いますか。

1位	地域清掃等の町の美化活動への参加	38.0%
2位	特になし	33.6%
3位	防災訓練の参加	31.2%
4位	お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い	24.8%

(資料「平成30年度神奈川区区民意識調査」)

神奈川区で進んでいる まちづくりを紹介します

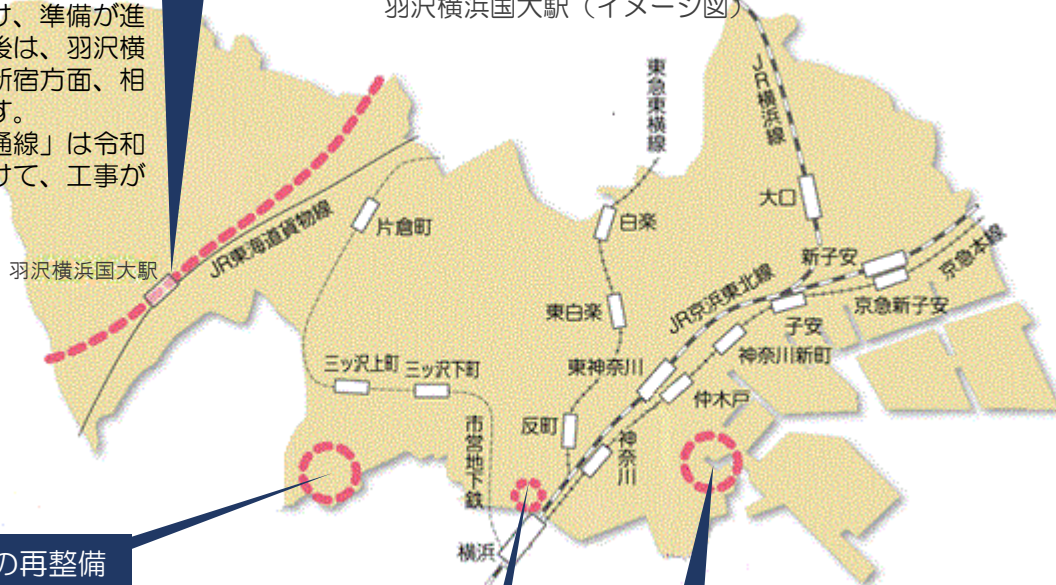
神奈川東部方面線の整備

「相鉄・JR直通線」は令和元年11月30日の開業に向け、準備が進められています。開業後は、羽沢横浜国大駅からJR線の新宿方面、相鉄線方面につながります。

また「相鉄・東急直通線」は令和4年度下期の開業に向けて、工事が進められています。



羽沢横浜国大駅（イメージ図）



市民病院の再整備

現在、新病院建物の建築工事を進めており、令和2年5月1日に三ツ沢西町に新築移転する予定です。新病院では、手術室の増室や最新の放射線治療機器を導入するなど高度な医療を提供します。

また、個室を増やすとともに、大部屋も6人部屋から4人部屋になり一人あたりの面積が増加するなど、療養環境が大幅に向上します。



市民病院再整備（イメージ図）

東高島駅北地区の開発

医療・健康・居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めるため、今年度は基盤整備工事や埋め立て工事を予定しており、令和5年度の完成を目指しています。

横浜駅きた西口鶴屋地区の再開発

国家戦略特区を活用した市街地再開発事業で、住宅・ホテル・多言語対応の子育て支援施設・横浜駅直結の歩行者デッキ等の整備に向けて、令和4年度の完成を目指し、今年度着工される予定です。

横浜駅直結の歩行者デッキは、現在工事が進められているJR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビルと一体的に整備され、東横フラワー緑道方面への利便性が向上する予定です。



横浜駅きた西口鶴屋地区再開発（イメージ図）

令和元年度 神奈川区編成予算案総括

1 区別総括表

(単位：千円)

	元年度予算額	30年度予算額	差 引
(1) 自主企画事業費	106,014	105,863	151
(2) 統合事務事業費	47,386	28,420	18,966
統合事務費 ※1	28,518	28,420	98
統合事業費 ※2	18,868	0	18,868
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	577,226	571,651	5,575
合 計	730,626	705,934	24,692

※1…局事業に係る事務費 ※2…自主企画事業に含まれていた、18区共通で実施している事業の一部を分離して計上

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 106,014千円 (30年度 105,863千円) 差引 151千円

(単位：千円)

区 分	元年度予算額	30年度予算額	差 引	増減理由
4つの施策				
I 安全・安心なまちづくり	35,942	23,767	12,175	区防災情報ハザードマップ等の全戸配布及び振り込め詐欺等撲滅対策事業による増
II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	22,278	25,596	△ 3,318	統合事業費への分離計上による減
III 魅力にあふれ愛着が持てるまちづくり	14,772	14,260	512	神奈川宿歴史の道更新のための調査等による増
IV 地域の力やつながりをはぐくむまちづくり	22,240	21,105	1,135	持続可能な団地再生検討事業による増
V 共感と信頼の区役所	10,782	21,135	△ 10,353	統合事業費への分離計上及び区民意識調査(隔年)終了による減
合 計	106,014	105,863	151	(34事業)

(2) 統合事務事業費 47,386千円 (30年度 28,420千円) 差引 18,966千円

(単位：千円)

区 分	元年度予算額	30年度予算額	差 引
統合事務費	28,518	28,420	98
統合事業費 (6事業)	18,868	0	18,868
合 計	47,386	28,420	18,966

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 577,226千円 (30年度 571,651千円) 差引 5,575千円

(単位：千円)

区 分	元年度予算額	30年度予算額	差 引
1 区庁舎等	79,409	79,384	25
2 土木事務所	8,155	8,150	5
3 公会堂	35,123	34,682	441
4 地区センター等	194,727	192,919	1,808
5 ログハウス	8,126	8,051	75
6 区民文化センター	114,097	112,779	1,318
7 老人福祉センター	25,449	25,215	234
8 コミュニティハウス	52,462	51,591	871
9 スポーツセンター	50,798	50,000	798
10 広場・遊び場	1,380	1,380	0
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	7,500	0
合 計	577,226	571,651	5,575

～令和元年度神奈川区編成予算自主企画事業費～

I 安全・安心なまちづくり 35,942千円 (30年度23,767千円)

- (1) 地域防災力向上事業 重点
- (2) 振り込め詐欺等撲滅対策事業 重点
- (3) 神奈川区防犯対策事業
- (4) 交通安全対策事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① 緊急時情報システムの運用及び検証（総務局区配）
- ② 災害対策備蓄事業（総務局事業）
- ③ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ④ 下水道管きょ耐震化事業／災害用ハマッコトイレ整備事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑤ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑥ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑦ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑧ 都市計画道路大田神奈川線（馬場地区）街路整備事業（道路局事業）
- ⑨ 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）
- ⑩ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ⑪ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ⑫ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ⑬ 総合的な空家等対策の推進（建築局事業）

(1) 地域防災力向上事業 26,757千円(30年度17,105千円) ☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉え、行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進します。特に大阪府北部地震や平成30年7月豪雨での被害等をふまえ、自助・共助、女性の視点から新たな課題に対応します。

ア 地域防災力の強化

◆ **ハザードマップ・防災情報ファイルの作成、全戸配布【新規】(9月～)**

- ・区独自のハザードマップ(津波、洪水、土砂災害等の危険箇所や避難所などの防災情報)と防災情報ファイル(防災情報やチェック機能)を作成。

自宅や避難場所を示すシールを同封し、全戸配布。

◆ **神奈川区防災アドバイザー派遣事業【新規】(4月～23件)**

- ・ **感震ブレーカーの設置支援【新規】(4月～21件)**

◆ **女性の視点を取り入れた避難所運営支援【新規】**

- ・ 地域防災拠点運営委員会向けセミナー

(8月7日実施 62名参加)

- ・ 地域防災拠点への区独自の備蓄品整備

(12月整備予定)

◆ 家具転倒防止対策器具設置補助(4月～32件)

◆ 不燃化推進地域等における感震ブレーカー設置促進事業(通年)

◆ 神奈川区「地域の防災マップ」作成支援事業(4月～2団体)

◆ 神奈川区共助推進事業(4月～12団体)

◆ スタンドパイプ式初期消火器具整備費補助事業(通年)

◆ 次世代への防災教育(通年)

◆ 多世代の防災意識向上(通年)

◆ 地域防災拠点開設・運営訓練及び運営委員会への支援(通年)

◆ 神奈川区防災関係機関会議及び神奈川区内鉄道事業者等

による災害対策検討協議会(7月6日)



女性の視点を取り入れた
避難所運営支援
(地域防災拠点運営委員会向け
セミナー)

イ 区役所災害対応力の強化

災害時に職員が迅速かつ的確に行動できるよう、訓練や研修を実施し、災害対応力の強化を図ります。

◆ 転入職員向け研修(4月12日)

◆ 即応班研修(4月19日・22日)

◆ 風水害対策訓練(6月25日・26日)

◆ 地域防災拠点参与・参与補助者研修(7月2日・4日)

◆ 地域防災拠点動員者向け研修(7月31日、8月2日)

◆ 庁舎避難誘導訓練(9月2日)

◆ 区本部初動対応訓練(9月20日・24日・25日)

◆ 区本部運営訓練(2月)

◆ 区本部運営に必要な物資の整備(通年)



地域防災拠点動員者向け研修
(机上訓練状況)

ウ 医療初動体制の整備

◆災害医療に係る機関や団体との連携

- ・区災害時救急病院・休日急患診療所との連絡会（6月28日）
- ・神奈川区災害医療連絡会議（9月13日、2月）

◆災害医療の訓練や区民啓発

- ・区内災害時救急病院（7施設）等との情報受伝達訓練（年4回）
- ・災害医療のぼり旗掲出訓練の実施（9月2日～9月7日）
- ・地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発の実施（随時）
- ・神奈川区災害医療訓練（10月20日）
- ・鶴見区との通信訓練（1月）

エ 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への個別説明等を行い、新規協定締結の促進を図ります。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援します。

◆新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）

（名簿提供団体：101団体、うち令和元年度の新規提供団体：7団体 8月末現在）

◆災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（7月 計3回）

◆災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

◆名簿協定に係る協定未締結の自治会町内会に対して新規協定締結の働きかけを実施（随時）

◆神奈川区見守り活動啓発用パンフレットの作成・配布（7月）



神奈川区見守り活動啓発用
パンフレット

オ 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所について、要援護者自身の日頃の備えや心構えなども新たに記載したチラシを作成し、引き続き、福祉避難所の役割や機能を区民へ周知していくとともに、運営体制の整備を図ります。

◆福祉避難所の役割や機能の周知

- ・神奈川区独自の福祉避難所チラシの作成（7月）
- ・区内各公共施設においてチラシを配架、周知（8月～）
- ・各地域防災拠点訓練時にチラシを参加者へ配布・周知（9月～）

◆運営体制の整備

- ・福祉避難所協定締結施設との連絡会を開催、年2回（6月下旬、2月下旬）
- ・福祉避難所協定締結施設を対象に研修会を開催、年1回（11月予定）
- ・区本部関係各班、地域防災拠点と連携した開設・運営訓練の実施

<<令和元年5月末現在 福祉避難所協定締結数：20施設>>

カ 災害時のペット対策

◆地域防災拠点における災害時のペット対策支援（通年）

- ・「神奈川区地域防災拠点におけるペット同行避難対応ガイドライン」に従い、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策を支援
- ・防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施
（3拠点実施、9月以降8拠点実施予定）
- ・地域防災拠点運営委員会総会（6月20日）等にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- ・講演会の実施（8月3日）35名参加
「地震！愛犬と備える防災講座～東日本大震災のボランティア体験から」
講師：遠藤エマ氏（JAHA認定家庭犬インストラクター、横浜市動物適正飼育推進員）
岐部文明氏（羽沢小学校地域防災拠点委員長）



講演会の様子



地域防災拠点でのペット同行避難訓練

◆飼い主への災害時ペット対策の啓発（通年）

- ・地域防災拠点（11拠点）や区民ホール（9月9日～13日、3月2日～6日）、区民まつり（10月13日）にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施
- ・「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を動物病院、量販店等で配布

① 緊急時情報システムの運用及び検証（総務局区配）

地域の防災組織の長（自治会町内会長）と区との間の情報受伝達手段のひとつとして、電話やメールを利用した、双方向機能を有する「緊急時情報システム」を試行運用し、実務上の課題等を検証します。

② 災害対策備蓄事業（総務局事業）

地域防災拠点で備蓄している生活用品（ほ乳瓶、生理用品、紙おむつ、紙パンツ）について、一斉更新します。

(2) 振り込み詐欺等撲滅対策事業 2,000 千円 (30年度 一千円) ☆重点事業 **地域振興課**
☆新規事業

地域で実施する防犯キャンペーンやパトロール、防犯講話等の機会を捉え、啓発物品や広報物の配布などを通じて振り込み詐欺等の犯罪に遭わないための啓発を行い、区民の防犯意識向上を図ります。

特に、振り込み詐欺の犯人は電話の声を録音されることを嫌うため、警察と連携し、留守番電話設定の奨励や、迷惑電話防止機能付きの電話機・機器の普及に向けた対策を進めます。

ア 警察や地域と連携した振り込み詐欺被害防止対策

- ◆「留守番電話の設定」「迷惑電話防止機能付き電話機・機器の設置」に向けた周知・啓発
(自治会町内会等へのパトロール用物品の支給、区民への啓発物品の配布)

イ 迷惑電話防止機能付き電話機・機器の普及等に向けた取組

- ◆広報よこはま区版特集での特殊詐欺等撃退対策啓発実施
(8月号掲載)
- ◆自動通話録音装置の貸出
(募集期間9月2日～10月18日、貸出台数140台)、
及び効果検証



自動通話録音装置の一例(右)

(3) 神奈川区防犯対策事業 2,905 千円 (30年度 2,882 千円) **地域振興課**

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察署や防犯協会と連携を図りながら、情報提供・啓発活動などの防犯対策を推進します。

ア 住みよいまちづくり活動 (21 地区連合町内会の防犯活動支援)

- ◆助成金交付、防犯啓発物品の配布・貸与

イ 防犯活動啓発事業

- ◆防犯情報メールの配信、区ツイッターへの掲載
- ◆地域への防犯グッズ (帽子・ベスト・防犯棒等) の配布
- ◆地域・事業者等の車両による青色回転灯パトロールの実施支援
- ◆その他区内の各地区の犯罪発生状況に応じた啓発

(4) 交通安全対策事業 4,280 千円 (30 年度 3,780 千円)

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を図ります。

また、路側帯のカラー化など用地取得を伴わない安全対策を行い、歩行者環境の改善を図ります。

ア 交通安全啓発事業

- ◆交通安全教室の開催 対象：小・中学生、高齢者
- ◆交通安全チラシおよび啓発物品の配布、広報よこはま区版の活用

イ 神奈川区交通安全対策協議会事業

- ◆神奈川区交通安全対策協議会の開催、交通安全功労者表彰の実施等

ウ 児童通学路整備事業

- ◆スクールゾーン対策協議会活動の支援
- ◆通学路内の路面標示の補修

エ 交通安全対策工事

- ◆路面標示・標識の設置、補修等



小学校で実施した交通安全教室



警察と連携した交通安全啓発活動

神奈川区内まちづくり関連予算

③ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する工事を実施します。令和元年度は松見町一丁目第三公園で実施を予定しています。また、老朽化した遊具等施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心性の向上を図ります。令和元年度は菅田いでど公園、西寺尾第二公園、羽沢大道第二公園、松見町一丁目中央公園などの公園で実施を予定しています。

④ 下水道管きょ耐震化事業／災害用ハマッコトイレ整備事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

応急復旧活動拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めます。令和元年度は神奈川土木事務所の周辺の下水道管きょ耐震化を予定しています。また下水道管きょの耐震性の調査については、移転した子安小学校や、液状化被害想定区域外の羽沢小学校、菅田小学校、池上小学校の周辺について実施します。

災害用ハマッコトイレ整備は、羽沢小学校と市民病院の2か所を予定しています。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、概ね戦後から昭和45年頃にかけて布設された古い下水道管（本管及び取付管）の再整備を行っています。令和元年度は入江2丁目、七島町、松見町1丁目などで工事を予定しています。

⑤ 道路維持修繕事業（道路局区配）

片倉一丁目や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図ります。

⑥ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について用地交渉を進め、早期取得を目指します。また、竣工箇所 of 道路台帳の整備を行います。

⑦ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めており、令和元年度は損傷した誘導ブロックの補修工事を行うとともに、大口駅東側の整備を行います。

⑧ 都市計画道路大田神奈川線（馬場地区）街路整備事業（道路局事業）

令和元年度の開通を予定している首都高速道路横浜北線馬場出入口と一体的に整備するため、引き続き内路交差点北側の街路築造工事を行います。

⑨ 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

「相鉄・JR直通線（西谷駅～羽沢横浜国大駅間）」の開業日が、令和元年11月30日に決定しました。東海道貨物線との接続部である横浜羽沢貨物駅構内での切替工事を行うとともに、開業準備を進めます。

「相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大駅～日吉駅間）」では、令和4年度下期の開業に向けて、全区間で土木工事を進めます。

⑩ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和元年度は、施設建築物新築工事に着手します。

⑪ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和元年度は、建物補償や、仮設工事等を進めます。埋立事業については、仮設栈橋の設置等を実施します。

⑫ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行っています。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

⑬ 総合的な空家等対策の推進（建築局事業）

平成 31 年 2 月に「第 2 期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の 4 つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和元年度は、空家化の予防、流通活用の促進を目的とした相談体制の強化や空家所有者に対する活用補助のモデル実施とともに、特定空家の認定の推進や所有者調査の委託化等、管理不全空家への指導強化に向けた対策を実施します。



羽沢横浜国大駅（イメージ）



横浜駅きた西口鶴屋地区（イメージ）

Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 22,278 千円

(30年度 25,596 千円)

(5) かながわ健康づくり応援事業 重点

(6) かながわ安心子育て支援事業

(7) かながわ子育てかめっ子支援事業

(8) 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業

(9) 市立保育所地域交流事業

(10) 放課後児童健全育成連携強化事業

(11) 介護予防・高齢者支援事業

(12) 障害者支援事業

(13) 青少年育成費

(14) スポーツ振興事業費

かながわ子育て応援事業 重点

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑭ 370 万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ⑮ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑯ 女性相談保護事業（こども青少年局区配）
- ⑰ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ⑱ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ⑲ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ⑳ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ㉑ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ㉒ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ㉓ 放課後キッズクラブ施設整備事業（こども青少年局区配）
- ㉔ 放課後児童クラブ移行支援事業（こども青少年局区配）
- ㉕ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局）
- ㉖ 介護予防普及啓発関連事業（健康福祉局区配）
- ㉗ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ㉘ 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化（健康福祉局事業）

(5) かながわ健康づくり応援事業 6,134 千円 (30 年度 2,794 千円) ☆重点事業

福祉保健課

区民の健康寿命延伸を目指し、誰もが生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体と連携し、ライフステージに応じた健康づくり活動を展開します。

ア さあ！歩こう健康ウォーキング事業 (保健活動推進員等と協働)

◆ウォーキングイベント

- ・保健活動推進員等と協働したウォーキングイベントの実施 (11 月 28 日、3 月)
- ・地域主体のウォーキング開催支援として保健活動推進員等を対象とした研修会の実施 (8 月 28 日)

イ 健康づくり推進事業

◆情報発信の充実

- ・健康チェック・情報コーナーを区庁舎内に設置【新規】(7 月)
生活習慣改善のきっかけ及び特定検診・がん検診の受診勧奨の機会とする。
- ・地域ケアプラザ等に設置した健康掲示板による情報発信 (5 回実施、全 12 回)
- ・広報よこはま神奈川区版で
「健康かながわ応援コラム」を毎月掲載 (5 月号～)



健康チェック・情報コーナー

◆健康かながわ応援月間 (10～11 月)

30 年度から区役所各課が幅広い世代を対象とした様々な健康関連事業を集中的に実施。

関係機関・団体、地域に呼びかけ、賛同した関係機関等の取組も一体的に PR。

- ・がん検診普及啓発講演会 (11 月 1 日)
「走る意味～闘病を乗り越え気づいたこと～」
講師：プロランニングコーチ 金 哲彦氏
横浜市立大学医学部教授 斉藤 聡氏



講師：プロランニングコーチ
金 哲彦氏

- ・区民まつり 健康ワクワク広場 (10 月 13 日)
- ◆地域における健康づくり活動の支援
 - ・歯周病予防・オーラルフレイル (次ページ※1) 予防などをテーマとした歯科出前講座の開催 7 回【新規】(1 回実施、20 名)
 - ・健康チェック機器の整備による地域関係団体への活動支援 (随時)
- ◆働き・子育て世代の健康づくり
 - ・区内の事業所に対し、健康経営 (次ページ※2) の取組を推進するための講座 1 回【新規】
 - ・健康経営認証企業に対して健康講座を実施 (7 月 23 日 30 名)
 - ・両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施 (5 コース実施、12 コース)



ウ 食育普及事業

◆ 保育園・小中学校等との連携による食育推進

- ・ 保育園・小中学校等の栄養士・養護教諭等が
各々の取組を共有する連絡会（5月30日、3月）
- ・ 食育展（6月10日～21日）



区庁舎1階区民ホールで行った食育展

◆ 食育関連講座

- ・ 出前食育講座：学校等との協働による食育講座を出前で実施（3回実施、172名）
- ・ ヘルスマイトとの協働による地産地消野菜レシピ集を活用した野菜摂取の普及（3回予定）
- ・ 食育ミニ講座：3歳児健康診査の参加者に食育講座を実施（10回実施、全24回）

※1 オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態。身体の衰え（フレイル）にも大きく関わっています

※2 健康経営……………社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む企業経営のスタイル

⑭ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）

第2期健康横浜21計画の中間評価の結果を踏まえ「食生活」「運動」「喫煙・飲酒」「歯・口腔」「休養・こころ」の5つの分野の取組のほか、企業や地域等と連携した都市型の健康づくりをすすめ、オール横浜で健康寿命の延伸を目指します。

(6) かながわ安心子育て支援事業 2,072 千円 (30 年度 2,282 千円)

☆重点事業

こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みます。また、乳幼児の保護者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を支援します。

ア 児童虐待防止対策事業

◆児童虐待・DV 防止連絡会 (年 2 回)

関係機関が連携強化のための意見交換を実施

5 月 27 日 (16 名参加)、令和 2 年 1 月 29 日

10 月 30 日 講演会実施

◆養育支援連携会議 (5 地区 各 1 回)

民生・児童委員、学校関係者等で児童虐待を予防するための支援についての検討

◆子育て講演会 (年 2 回)

2 歳児の保護者向けの子育ての具体的な方法についての講演会を実施

8 月 27 日、令和 2 年 1 月 15 日

イ 親支援プログラム

育児の不安や悩みを持つ保護者に対し、子育てのノウハウを具体的に学べる講座を実施

0 歳児向け (4 回/コース 2 回)

6 月 17 日～7 月 8 日 10 名参加

ウ 子育て支援教室

障害児を持つ保護者同士の交流会を実施し、孤立を防止 (年 3 回)

エ 妊産婦等アドバイザー事業

妊娠期からの相談対応 (週 2 日)

オ ひとり親家庭相談支援事業

児童扶養手当の現況届時などに相談員を配置

カ DV・虐待心理相談事業

カウンセリングを実施 (月 2 回)

キ 児童扶養手当現況面接一時託児事業

⑮ 児童虐待防止啓発地域連携事業 (こども青少年局事業)

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

⑯ 女性相談保護事業 (こども青少年局区配)

DV 被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。



子育て講演会

(7) かながわ子育てかめっ子支援事業 5,190 千円 (30 年度 5,808 千円) ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを進めます。

ア 養育ネットワーク事業【拡充】

- ◆0歳児の育児教室に新たに子育て支援者を配置し、保護者への支援を充実(区内16か所 月1回程度)

イ 外遊び活動支援事業

子どもの育ちに外遊びが重要であることを周知



外遊び体験イベント(反町公園)

- ◆外遊び体験イベント(3回/コース・年2回)

内容	場所	日程	参加者数(人)
春夏編	西寺尾公園	5月27日	32
	反町公園	5月29日	132
	豊顕寺市民の森	6月11日	38
秋冬編	入江町公園	10月15日	—
	根岸公園	10月21日	—
	神奈川公園	10月23日	—

- ◆外遊びネットワーク交流会(年2回)

- ◆外遊び講演会(年1回) 5月13日 161名参加

ウ すくすくかめっ子事業

地域ぐるみで実施されている親子のたまり場(44会場)の活動支援、担い手同士の交流を実施(参加者数 計141名)

内容	会場	日程	参加者数(人)
全体交流会	神奈川区地域子育て支援拠点かな一ちえ	6月17日	54
方面別交流会	神之木地域ケアプラザ	7月1日	19
方面別交流会	菅田地域ケアプラザ	7月23日	23
方面別交流会	神奈川区地域子育て支援拠点かな一ちえ	7月29日	20
方面別交流会	六角橋地域ケアプラザ	7月30日	25
全体研修会	神奈川区地域子育て支援拠点かな一ちえ	2月予定	—

エ 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催(年12回)

オ 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校の小学5年生を対象に、0歳児の母子の協力を得て、児童が乳児とふれあう講座を実施(5校)

カ 子育て情報提供事業

子育て応援マップ(13,000部)、子ども・家庭支援相談案内(6,000部)作成

キ 出張子育て拠点事業

地域子育て支援拠点へのアクセスが悪い地域に週1回出張広場を実施(2か所)

ク 子育てアンケート事業

乳幼児健診を受診する保護者を対象に子育てに関するアンケート調査を実施し、乳幼児期の子育ての様子や地域資源の利用状況を把握（1,000名程度）

5月 対象者に調査票の郵送

7月～9月 乳幼児健診会場において調査票の回収

10月～12月 集計・分析（予定）

⑰ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めています。
参考：平成30年4月～平成31年3月の実績 訪問員59名、訪問件数1,854件

⑱ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

未就学児とその保護者、および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」（NPO法人 親がめ が運営）があります。
参考：平成30年4月～平成31年3月の実績 33,233名

（8）保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業 805千円（30年度 一千円）

こども家庭支援課

区内の保育・教育施設がより実践的な防災対策に取り組むことができるよう「防災アドバイザー」を派遣し、講座やワークショップ、伴走支援等を実施して、施設の取組みを支援します。

ア 防災アドバイザー派遣【新規】

- ◆防災対策を含めた、保育所と地域のつながり力に関する研究を行っている、横浜市立大学の三輪律江准教授や横浜国立大学の稲垣景子准教授等の有識者を防災アドバイザーとして派遣。

・施設の防災対策、施設と地域及び施設同士の連携などをテーマとした連続講座と施設と地域の共助力を強化するため、防災アドバイザーがファシリテーターとなり、施設自らができること、やりたいことについて話し合うワークショップを開催（3回）

6月14日（46施設 57名）

10月24日、令和2年2月19日

・神奈川区における施設と地域の連携モデル策定に向けて、防災アドバイザーによる伴走支援を保育園と幼稚園各1園で実施。

実施園：いずみ反町保育園、白幡幼稚園



保育・教育施設向け
+αの防災ガイド



「まち保育」の理解と防災力強化
連続講座

(9) 市立保育所地域交流事業 1,835 千円 (30 年度 1,864 千円)

☆重点事業

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

ア 食育推進事業

- ◆入所児童の保護者を対象に給食試食、地域の親子を対象にランチ交流を実施

ランチ交流 7回 (令和元年6月30日現在)

イ 地域交流事業

- ◆園庭や施設を地域に開放し交流を実施

ウ 保育施設等情報パンフレット作成

- ◆神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成

エ 保育園連携強化事業

- ◆民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会 (年6回) や研修会を行い、保育の質の向上を図ります。



園庭開放

⑱ 保育所地域子育て支援事業 (こども青少年局区配)

全市共通事業 (育児相談、育児講座、平日の園庭開放等) に加え、土曜日の園庭開放を実施し、父親の育児参加等を支援します。

⑲ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築 (こども青少年局区配)

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

⑳ 保育所待機児童対策 (こども青少年局事業)

待機児童解消のため、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュが中心となって、電話や面談等により保護者へ寄り添った、きめ細やかな相談・支援を行います。

【令和2年4月開所 (予定)】

認可保育所

- ・ (仮称) とうよう片倉町保育園 (神大寺三丁目)

定員 60 人

小規模保育事業

- ・ (仮称) スターチャイルド《横浜ステーションナーサリー》 (鶴屋町一丁目)

定員 19 人

(10) 放課後児童健全育成連携強化事業**300 千円 (30 年度 300 千円)****こども家庭支援課**

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の「質の向上」を図るため、放課後事業に従事する職員等を対象に研修を実施します。

また、クラブ職員が安心して活動できるよう、現場を支える運営主体向けの研修を開催し、放課後事業の連携を強化し、質の向上と安定運営を図ります。

ア 職員向け研修

研修名	内容	実施時期	参加人数
発達障害理解研修	発達障害など配慮を要する児童への対応方法	9月17日 (予定)	
養育支援研修	児童虐待等への対応方法	10月	
感染症対応研修	感染性胃腸炎等が発生した場合の対応方法	11月	
活動支援研修	日常の支援業務に活かせる実技	12月	

イ 運営主体向け研修

研修名	内容	実施時期	参加人数
クラブ運営管理	人材確保と人材育成、クラブ運営について	6月15日	14
危機管理	事故を防止する取組や事故発生時の対応	2月15日	

【対象】放課後児童健全育成事業クラブ数（令和元年8月31日現在）

放課後キッズクラブ 18 か所、放課後児童クラブ 17 か所

㉒ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を委託して実施します。

㉓ 放課後キッズクラブ施設整備事業（こども青少年局区配）

小学校施設を活用した「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安心で快適な放課後の場所をすべての子どもたちに提供するため、放課後キッズクラブを整備します。

【参考】放課後キッズクラブ整備数：18か所（令和元年8月31日現在）

平成31年3月開設：神大寺小学校放課後キッズクラブ

平成31年4月開設：三ツ沢小学校放課後キッズクラブ

令和2年4月開設（予定）：南神大寺小学校放課後キッズクラブ

㉔ 放課後児童クラブ移行支援事業（こども青少年局区配）

条例の基準に適合するように、放課後児童クラブの分割・移転等を支援します。

(11) 介護予防・高齢者支援事業 1,590千円(30年度3,861千円)

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らし続けられるよう、在宅医療に関する区民への普及啓発や身近な場所での介護予防、認知症支援事業を地域と一体となって取り組み、「地域包括ケアシステム」の基盤づくりを推進していきます。

また、局区配事業においても、「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区行動指針」の推進をはじめ、地域における介護予防を推進する「元気づくりステーション事業」や、専門職で構成されたチームによって認知症の方を支援する「認知症初期集中支援チーム事業」などを推進します。

ア 地域包括ケア推進事業

◆在宅医療の普及啓発

- ・地域の身近な場所では在宅医療に関する知識を習得できる区民向け講習会を開催（8回）
- ・在宅医療マップについて、区役所や地域ケアプラザ、区民向け講習会等で配布するだけでなく、民生委員の方に普段の活動の中で活用してもらうことで細かく地域の高齢者に対して在宅医療の啓発を進めていきます。

◆地域包括ケアを推進するための地域ケア会議の実施（通年）

- ・区域における課題である「独居高齢者」、「医療・介護・地域連携」を重点テーマとし、区役所を始め、区内の関係機関・団体等で重点的に取り組んでいきます。

【参考】各地域ケア会議の実績内訳

	個別レベル地域ケア会議	包括レベル地域ケア会議	区レベル地域ケア会議
主催	地域包括支援センター	地域包括支援センター	区役所
実施回数	6回	2回	0回（2月実施予定）
主な参加者	地域包括支援センター職員、医師、看護師、薬剤師、ケアマネ、デイサービスなどの事業者、民生委員、区社協、UR、警察、消防など		

イ 介護予防普及啓発事業

◆介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」の開催

- ・地域の身近な場所である町内会館等において、健康の客観的指標である「体力測定」を取り入れた介護予防講座の開催（7か所・延べ124名参加）【拡充】

◆「低栄養防止ランチョンマット」の配布

- ・平成30年度に作成したランチョンマットを「体力測定 de 健康アップ講座」など地域の身近な場所で配布することにより、引き続き高齢者の低栄養防止に取り組みます。

ウ 認知症高齢者支援事業

◆「認知症高齢者みまもり協力店」の活動促進【拡充】

- ・認知症高齢者を温かく見守る「みまもり協力店」の取組をより拡充していくため、区内の認知症支援に係る取組の紹介や情報などを共有する「オレンジ通信」を発行（6月）【新規】

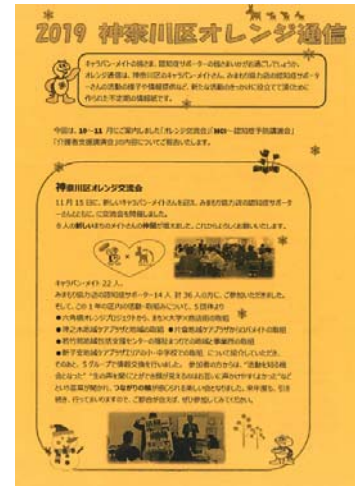
◆認知症支援に取り組む地域人材の育成

- ・認知症支援の取組をさらに広げるため、「認知症サポーター養成講座」を受講した方のうち、希望する方をボランティアとして登録し、地域での認知症講座や啓発活動などの担い手として育成【新規】

◆高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配付

- ・平成30年度に作成した「みまもりキーホルダー」を、緊急時の身元確認ツールとして区内の地域ケアプラザ・地域包括支援センターで引き続き配付することにより、元気なうちから安心して過ごせる地域づくりを推進します。

※配付数：212個（累計2,899個）7月末時点



「オレンジ通信」

②⑤ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局）

・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）

横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。

・在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修（医療局区配）

・介護予防・日常生活支援総合事業（健康福祉局事業）

介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業。従来の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。

・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）

主に生活支援・介護予防に重点的に取り組む事業として、生活支援コーディネーター等が地域住民など多様な主体と連携しながら、日常的家事の支援、交流・居場所づくり、見守り活動などの立ち上げや運営の支援に取り組んでいます。

・各区地域包括ケア行動指針推進費（健康福祉局区配）

②⑥ 介護予防普及啓発関連事業（健康福祉局区配）

・元気づくりステーション事業

介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をします。

*活動状況： 地域包括支援センター単位で1～5か所にて実施

*内 容： 体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など

・地域介護予防活動支援事業

地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指すとともに、介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」などを展開します。

⑳ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

・ 神奈川県徘徊高齢者 SOS ネットワーク

認知症により徘徊の可能性のある方を事前登録することで、徘徊して行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。

・ 横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）

徘徊によって行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等 SOS ネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。

（平成30年12月より事業開始）

・ 認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）

医療や介護サービス等につなげていない認知症の方や疑いのある40歳以上の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行います。

㉑ 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化（健康福祉局事業）

現在の地域ケアプラザの整備計画終了後の方針検討に合わせて、特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化の検討を行います。



(12) 障害者支援事業 1,589 千円 (30 年度 1,559 千円)

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりがその人にふさわしい地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援します。

ア 障害者地域作業所等の活動支援

◆花のデリバリー

- ・フラワーアレンジメントの配達を委託（通年 48 週）

◆障害者作業所等紹介ガイドブック点字訳版の作成、配布

【拡充】

- ・平成 30 年度に作成した障害者作業所等紹介ガイドブックの点字訳版を作成（50 冊予定）

◆障害者地域作業所等の活動支援

- ・反町駅前ふれあいサロン等での自主製品展示を支援（通年）
- ・区役所販売支援（通年 週 1 回程度）、障害者週間等での啓発（12 月）



フラワーアレンジメントの様子

イ 障害児者の健康づくり講習会

◆健康づくりのための研修の開催

- ・障害特性や個別性に応じた歯科口腔ケア技術の向上のための訪問指導（3 回／年）

ウ 精神障害者の退院促進や在宅生活継続に向けた支援

◆精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

- ・生活支援センター、基幹相談支援センター等、関係機関とのケースカンファレンスの開催（随時）
- ・精神保健福祉関係機関との連絡調整会議（3 回／年）
- ・精神保健福祉関係者の連携強化のための研修会（1 回／年）
- ・精神保健福祉関係パンフレット等の外国語訳作成



歯科口腔ケア訪問指導の様子
（区内作業所にて）

エ 関係機関との連携・支援

◆障害者支援を行う関係機関等のスキルアップ・ネットワーク構築支援

- ・関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催（1 回／年）
- ・区内の障害児者支援の課題等に関する検討会（地域づくり会議等）の開催（4 回／年）

◆啓発・情報発信

- ・神奈川県地域自立支援協議会ホームページを活用した情報提供（随時）
- ・自殺対策キャンペーン実施。ポスター掲示や相談窓口を記載したティッシュを配布。職員が缶バッジを装着（自殺防止月間・9 月）

(13) 青少年育成費 542 千円 (30 年度 522 千円)

地域振興課

学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年が生き生きと活動、活躍できる機会をつくり、また、各種行事や体験を通して、関係団体の活動を支援するとともに、各団体間の連携を図ります。

ア 青少年活動推進事業

- ◆子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業や青少年育成者研修事業に対する支援

イ 青少年パワー発揮事業

- ◆B-SKY FES2019
青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント支援（9月）

(14) スポーツ振興事業 2,221 千円 (30 年度 1,401 千円)

地域振興課

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体を支援します。

ア 区民大会等各種事業補助

- ◆各種スポーツ大会、講習会の支援
 - ・野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引

イ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業【新規】

- ◆かながわ湊フェスタにおけるオリパラ啓発ブースや、区民まつりにおけるオリパラ啓発・競技体験ブースを設置します。

統合事業費に分離計上した事業

- ・スポーツ推進委員支援費 - 千円 (30 年度 2,319 千円)
- ・青少年指導員事業費 - 千円 (30 年度 2,256 千円)
- ・学校・家庭・地域連携事業 - 千円 (30 年度 630 千円)

Ⅲ 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり 14,772 千円

(30 年度 14,260 千円)

- (15) 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- (16) わが町かながわ商店街魅力発信事業
- (17) かながわ魅力向上事業
- (18) 文化活動支援事業
- (19) 花いっぱい事業
- (20) かながわエコスクラム事業
- (21) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- (22) 放置自転車等対策事業
- (23) 動物適正飼育推進事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ②⑨ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ③⑩ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ③⑪ 身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ③⑫ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ③⑬ 地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ③⑭ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

(15) 神奈川区資産「わが町かながわとっておき」活用事業

2,333 千円 (30 年度 2,241 千円)

☆重点事業

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町かながわとっておき」を活用し、まちの魅力アップに取り組むことで、区制 100 周年を見据え、区民、特に次世代を担う小中学生の地域への関心や愛着を深めます。

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町かながわとっておき」を活用し、まちの魅力アップに取り組むことで、区制 100 周年を見据え、区民、特に次世代を担う小中学生の地域への関心や愛着を深めます。

ア 神奈川区資産の活用

◆ 「わが町かながわとっておき」を活用したイベントの開催等

若いうちから「かながわ愛」・「地域愛」をはぐくみ、将来にわたって神奈川区への定住を促進するため、次世代を担う区内小中学生をターゲットとしたイベントを実施
< 具体的事業 >

① かめ太郎 まち自慢新聞コンテスト

(令和元年 6 月～受付中)

② とっておきを巡るバスツアー

実施日：令和元年 8 月 23 日

見学施設：神奈川大学・羽沢横浜国大駅

参加者数：12 組 28 名



バスツアーの様子

※地域団体に組織する「わが町かながわとっておき実行委員会」が主催

◆ 「わが町かながわとっておき」写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

◆ 「わが町かながわとっておき」散歩ガイドの配布と活用

イ 看板の維持管理

◆ 「わが町かながわ 50 選」案内看板の維持管理

現況確認を行い必要に応じて補修します。



案内看板の一例

(16) わが町かながわ商店街魅力発信事業 2,121千円(30年度2,061千円) 地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、商店街を含めたコミュニティの活性化を図ります。

ア 商店街ラリー事業

神奈川区の商店街を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作ることで、商店街の魅力を発信します。

②9 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

③0 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）

商店街が防犯パトロール活動を実施している場合、商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成する事により、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及策及び都市美化を図ります。

(17) かながわ魅力向上事業 5,063千円(30年度2,025千円) 区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」まちの魅力づくりに取り組みます。

ア 地産地消推進事業

◆直売所マップ集を活用したウォーキングイベントの実施（3回）

- ・ 7月24日 片倉・神大寺コース（募集15名、参加者13名）
- ・ 11月27日 菅田町・砂田川沿いコース（募集20名）
- ・ 1月下旬 羽沢地区コース（募集20名）

◆地産地消ガイドブックやレシピ集、直売所マップ集などを活用した地産地消の魅力の発信（通年）

◆食育講座等での地産地消に対する啓発活動



食育コーナーの様子
(神大マルシェ区役所ブース)

イ 歴史活用事業

- ◆旧東海道・神奈川宿等区内歴史資産を活用した若年層向け啓発講座等の開催
- ◆歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぼ」のPR・活用（通年）
- ◆歴史の道関連施設の更新を見据えた実態調査【拡充】

ウ 歩行者等動線整備事業

- ◆暫定通路整備に伴う国有地及び市場用地の土地使用料等

③1 身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）

身近に感じる地産地消を推進するため、区民と協働して作成した直売所マップを増刷しました。

(18) 文化活動支援事業 1,000 千円 (30 年度 1,000 千円)

地域振興課

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援するとともに、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実します。

ア 文化協会補助金

- ◆区伝統芸能祭（民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい）
- ◆区民音楽祭（コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会）
- ◆区文化展（洋画、日本画、写真、書道、文芸、手芸、工芸、華道、茶道、陶芸の展示会）
- ◆春のコンサート
- ◆ちいさな美術館

イ 読書活動推進事業

- ◆読書活動推進に向けた広報や講演会（1月26日）
- ◆区内関係機関と連携した企画展などの開催
- ◆読書活動関係機関連絡会（1回）

(19) 花いっぱい事業 1,550 千円 (30 年度 1,450 千円)

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作ります。

ア 球根・花苗の配布、花壇の設置

- ◆区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布し植栽を実施します。
- ◆公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置します。

イ 花苗の育成

- ◆公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を行います。

ウ ボランティア団体の交流の促進

- ◆土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流を促進し、協力体制を確立します。

(20) かながわエコスクラム事業 493 千円 (30 年度 452 千円)

区政推進課

区民・事業者・区役所の協働（＝スクラム）により、地球温暖化対策に取り組めます。
エコ講座の開催、緑のカーテンの普及啓発、イベントでの啓発活動を実施するとともに、カーボン・オフセット等の取組への支援を進めます。

ア エコ活啓発事業

- ◆小学生向け出前教室の開催（3回）
- ◆イベントでのエコ活啓発（2回）
- ◆カーボンオフセットへの取組の支援・PR
- ◆横浜FC協働事業（8月10日区民DAY、
8月24日エコパートナーDAY出展）

イ 緑化推進事業

- ◆区内公共施設での緑のカーテンの普及啓発
（15施設）
- ◆区役所での緑のカーテン設置（5月～9月）



緑のカーテンの育成(白幡地区センター)

⑳ 緑化推進事業（環境創造局区配）

地球温暖化対策の一環として、区内のこどもをはぐくむ施設での緑化の推進に取り組めます。

- ◆小学校・保育所に緑のカーテンを設置（22施設）

(21) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 1,000 千円 (30 年度 880 千円)

地域振興課

「ヨコハマ3R夢プラン」、特に3Rのリデュースを推進するため、食品ロスの削減、生ごみの水切り、土壌混合法等の普及・啓発を実施します。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指します。

ア 地域美化活動支援事業

- ◆地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- ◆「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）（9月25日）

イ 不法投棄防止対策事業

- ◆不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- ◆地域と連携した不法投棄への対応

ウ ヨコハマ3R夢啓発事業

- ◆地域まつり等での啓発
- ◆子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- ◆保育園や小学校等での出前授業
- ◆広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- ◆資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・不適正排出事業者の調査・指導・啓発
- ◆ヨコハマ3R夢推進功労者の表彰
- ◆喫煙禁止地区における地域と連携した啓発
- ◆喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
- ◆リユース食器利用促進に向けた費用補助



地域清掃

(22) 放置自転車等対策事業 650 千円 (30 年度 650 千円)

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図ります。

ア 自転車マナーアップ事業

- ◆広報での駐輪場の利用促進
- ◆自転車利用のマナーアップ啓発

イ 自転車等放置防止推進協議会への助成

- ◆9地区の協議会に対し活動費を助成

(23) 動物適正飼育推進事業 562 千円 (30 年度 261 千円)

生活衛生課

動物の適正飼育について普及啓発及び地域猫活動の支援を行います。

ア 犬の適正飼育啓発事業

- ◆犬の適正飼育方法の啓発チラシやトイレパックを狂犬病予防注射出張会場、窓口等で配布
啓発用トイレパック 1,100 パック配布済み
啓発チラシ 1,100 枚配布済み
- ◆犬のしつけ方で困っている飼い主へマナー教室の開催
神の木公園で実施予定 (10 月 5 日)
- ◆広報よこはま区版での啓発 (3 月)

イ 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ◆飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等にチラシの配布やセミナー等の実施、ふんトラブルの解決方法を啓発するため猫用トイレの配布、神奈川区猫ボランティアの派遣などの支援をしていきます。
- ◆飼育管理が不適切な飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育者に対して不妊去勢手術の指導
- ◆広報よこはま区版での啓発 (9 月、2 月)

ウ ペットの預け先啓発事業 【新規】

- ◆飼い主へ普段から何でも相談できる「かかりつけ動物病院」を持つことや、火事等の被災や飼い主の入院等によるペットの一時預け先を考えておくことについて、リーフレットを作成し啓発

③③ 地域猫活動支援事業 (健康福祉局事業)

飼い主のいない猫 (ノラ猫) 等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。
支援対象組織には、登録された飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をします。

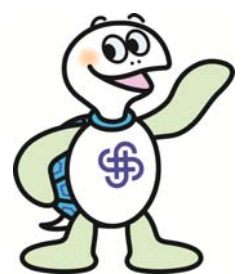
③④ 猫の不妊去勢手術推進事業 (健康福祉局事業)

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成します。

統合事業費に分離計上した事業

・クリーンタウン横浜事業

- 千円 (30 年度 2,320 千円)



IV 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり 22,240 千円

(30 年度 21,105 千円)

- (24) 地域力アップ推進事業 重点
- (25) 区民活動・生涯学習支援事業
- (26) 地域福祉保健活動推進・支援事業
- (27) ふれあい活動支援事業
- (28) 民生委員・児童委員活動支援事業
- (29) 区民協議会支援事業
- (30) 地域活動支援事業
- (31) 持続可能な団地再生検討事業
- (32) 神奈川区民まつり事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ③⑤ 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ③⑥ ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業（健康福祉局区配）

(24) 地域力アップ推進事業 3,378千円 (30年度 3,536千円) ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため「地域力アップ推進事業」を実施します。

ア 地域人材マッチング事業 (通年)

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する地区連合 (神之木西寺尾連合自治会、幸ヶ谷地区連合町内会)を支援します。

- ◆地域活動の担い手の掘り起こしを目的としたアンケートの実施にあたり、地域ニーズに応じた内容となるよう、コンサルタントとともに検討・作成支援

- ◆アンケートにおいて地域活動に関心を示した住民が、自治会町内会とつながりを持ち、地域活動の担い手として活躍できるよう、交流会等を協働により企画・実施

- ◆既に本事業に取り組んだ地区については、アンケート回答者名簿が継続的に活用され、担い手の確保につなげていけるよう、交流会の開催等に係る補助制度を新たに創設



「ご近所通信」の発行(5月号)

イ 地域情報紙「ご近所通信」の発行 (3回 5月、10月頃、3月頃)

協働による地域づくりの事例や地区担当チームを区民に紹介する地域情報紙を発行

ウ 地区担当チーム向け地域支援研修 (4回)

- ・転入者向け基礎研修 (4月9日、4月10日)
- ・地域力アップ研修 (9月19日、9月20日実施予定)

エ 地域力支援システム運用事業 (通年)

地区担当チームの地域支援に活用する地域情報を収集、整理する地域力支援システム「神奈川区GIS」を運用します。

35 元気な地域づくり推進事業 (市民局区配)

自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や、区民の自主的な地域活動に対する経費補助などを行う「かながわ地域支援補助金」事業を実施します。

また、区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施します。

- ◆「かながわ地域支援補助金」事業
 - 地域スクラムコース、区民力発揮コース
- ◆「地域づくり大学校」事業 (6講実施予定)

(25) 区民活動・生涯学習支援事業 3,670千円(30年度3,598千円)

地域振興課

地域の問題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供します。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行います。

ア 生涯学級事業

- ◆生涯学習講座
- ◆運営委員対象のスキルアップ講座・交流会

イ 区民活動支援センター事業

- ◆相談・支援等
 - ・ボランティア相談や団体活動支援、助っ人バンク（人財バンク）を活用したコーディネート
- ◆担い手発掘・育成
 - ・区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催（区内3施設予定）
 - ・助っ人バンクを活用した市民活動・地域活動体験講座として「助っ人バンク講座」を開催
 - ・登録団体や助っ人バンクの活動を紹介する「活動PR展」の開催（11月3日・かながわ湊フェスタと統合開催予定）
 - ・登録団体、助っ人バンク対象の交流会（8月19日）
- ◆情報紙発行
 - ・情報紙「ぐるーばる・あい」の発行（年6回）
- ◆地域施設間連携
 - ・地域課題や情報共有などを行うため施設間連携会議の開催
 - ・地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行など

ウ かながわ湊フェスタ開催事業

- ◆かながわ湊フェスタ2019の開催（11月3日・神奈川公会堂）
 - ・神奈川区内で活動している市民公益活動・生涯学習団体の活動をPRする。
 - ・生涯学習・市民活動団体や活動者同士が交流することで活動の活性化を図る。
 - ・来場者が生涯学習・市民活動を始める手がかりとなることで、いきいきと活動する区民を増やし地域の活性化を図る。

(26) 地域福祉保健活動推進・支援事業 1,840 千円 (30 年度 3,786 千円)

福祉保健課

「誰もが住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らせるまちをつくろう」を基本理念として、平成 28 年度から 5 年間で計画期間とする「かながわ支え愛プラン（第 3 期神奈川区地域福祉保健計画）」を推進します。あわせて、30 年度に実施した「区計画中間振り返り」も踏まえて第 4 期神奈川区地域福祉保健計画（計画期間：令和 3 年度～7 年度）の策定に向けた準備を行います。

◆第 3 期計画の推進および第 4 期計画の策定準備

＜策定・推進会議＞

- ・区計画の推進・進捗確認および策定に向けた意見交換の場である「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（9 月、3 月）及び委員による少人数での意見交換会（10～11 月）
- ・学識経験者等の計画策定アドバイザーを活用した区計画の骨子、素案作成（通年）
- ・21 地区でそれぞれの地区の目標や課題等について話し合う場である地区別計画推進会議の開催（各地区 2～3 回）



地区別計画推進会議の様子

＜地域別グループへの活動支援＞

- ・区職員、区社会福祉協議会、地域ケアプラザで構成する地域別グループによる各地区支援（通年）
- ・地域別グループの各機関の連携を深める場として、情報交換会の開催（6 月 24 日・26 日）

＜報告会・広報＞

- ・計画の取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2 月）
- ・広報紙「支え愛プラン通信」の発行（9 月、2 月）
- ・広報よこはま区版を活用した第 3 期計画に関する取組報告（8 月、10 月、1 月、4 月）

(27) ふれあい活動支援事業 1,871 千円 (30 年度 1,821 千円)

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

- ◆ふれあい活動員全員を対象とする研修会（10 月 16 日）
- ◆各地区社会福祉協議会会長及びふれあい活動地区まとめ役を対象とする全体会議（8 月 1 日）
- ◆ふれあい活動支援補助金の交付（17 団体）
- ◆神奈川区見守り活動啓発用パンフレットの作成・配布（再掲）

③⑥ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局区配）

市が保有する 75 歳以上のひとり暮らし高齢者等の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげます。

令和元年度から、従来の 75 歳以上のひとり暮らし高齢者と併せて、75 歳以上の高齢者のみで構成された世帯に属する高齢者にも対象者を拡大して実施します。

《令和元年度対象者数》	新たに 75 歳になったひとり暮らし高齢者	1,369 人
	75 歳以上の高齢者のみ（2 人以上）世帯	3,818 世帯

(28) 民生委員・児童委員活動支援事業 940 千円 (30 年度 915 千円)

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

◆訪問活動用物品の作成

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入
(ソフトパッキティッシュ、9月配布予定)

◆広報用ちらしの作成【新規】

民生委員・児童委員の役割や活動内容等を紹介するちらしを作成し、自治会・町内会等を通して地域に配布 (6月)

◆新任民生委員・児童委員研修会

令和元年12月の一斉改選で新たに委嘱された方を対象に、民生委員・児童委員の心構えや関係機関の機能など必要な知識を学ぶ研修を実施 (12月、2月)



民生委員・児童委員活動PRチラシ

(29) 区民協議会支援事業 389 千円 (30 年度 659 千円)

区政推進課

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動 (運営委員会、各部会、区民のつどい、地域のつどいなどの会議・行事) に対して支援を行います。

◆機関紙「こぶし」第26号発行 (7,500部)【5月】

◆区民のつどい (第20期活動報告) の開催【6月30日(日)】

(30) 地域活動支援事業 3,152 千円 (30 年度 2,790 千円)

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

ア 自治会町内会長感謝会

◆区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施 (3月)

◆5年以上の会長在職者について区長表彰を実施

イ 自治会町内会配送業務

◆各自治会町内会に月1回 (12月を除く) 回覧・掲出依頼物を送付

◆配送業務に係る事前準備委託

ウ 自治会町内会加入促進事業

◆転入者セットへ同封する加入促進チラシなどを作成

(31) 持続可能な団地再生検討事業 3,000 千円 (30 年度 一千円)

区政推進課

住民の高齢化や建物の老朽化が進行する区内団地について、地域主体での持続可能なコミュニティの形成等を目指すための検討を行います。

- ◆区内団地および団地を取り巻く周辺環境を分析するため、コーディネーター等による調査・課題抽出を行います。(通年)【新規】

(32) 神奈川区民まつり事業 4,000 千円 (30 年度 4,000 千円)

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川区民まつりを支援するとともに、環境問題に配慮した取組(ごみの分別徹底やリユース食器の利用促進・回収率向上、カーボンオフセットの取組等)について支援します。

- ◆ 実行委員会や各運営部会との連絡調整
- ◆ 会場等の利用支援
- ◆ 区民まつりの実施：10月13日(日)



区民まつりの様子

V 共感と信頼の区役所 10,782千円 (30年度21,135千円)

(33) チーム神奈川おもてなし向上事業

(34) かながわ情報発信・相談事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

⑳ 社会保障・税番号制度対応事業（市民局事業）

(33) チーム神奈川おもてなし向上事業 8,209千円(30年度7,049千円)

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策を通し、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指します。また、来庁者に利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めます。

ア 人材育成等推進事業

◆神奈川区を知る研修

- ・新採用・転入者研修、区内見学研修（4・5月）
- ・「チーム神奈川を学ぶ」研修（9月～11月、他課の業務を学ぶ）

◆職員研修

- ・CS向上研修（職員向け・責任職向け）
- ・職員スキルアップ研修
- ・行政対象暴力研修

イ 人権啓発事業

◆区職員向け研修

- ・責任職研修（全体研修6月11日、グループ研修7～11月各5回程度）
- ・職員対象研修（8回）

◆区民向け・関係団体向け講演会（1回）

ウ 区民顕彰事業

スポーツ、芸術、文化等の分野において、特に顕著な功績があった方へ栄誉賞を贈ります。

エ 窓口等環境改善

市民局が行う戸籍課マイナンバー窓口セキュリティ強化と合わせて別館1階の改善を行います。

オ サイン再整備等

サイン計画に基づく庁舎総合案内サイン再整備及び庁外サイン調査

③ 社会保障・税番号制度対応事業（市民局事業）

マイナンバーカードを取り扱う戸籍課窓口及び執務室のレイアウト・什器等の整備の実施を行います。

(34) かながわ情報発信・相談事業 2,573 千円 (30 年度 1,487 千円)

区政推進課

区の情報を効果的に発信するため、ホームページ等の管理運営や区民生活マップの発行を行います。

区の魅力を発信するツールとして、マスコットキャラクター「かめ太郎」や区の花チューリップを活用した各種事業を実施します。

- ア 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供
- イ 区民生活マップの発行：日本語版 13,000 部
- ウ 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用
- エ 区の花「チューリップ」を植栽し、写生画展の開催
 - ◆区内小学生を対象として写生画展を開催、
受賞・入賞作品を神奈川県図書館・区役所で展示
(神奈川県図書館 6月5日～6月12日
区役所区民ホール 6月21日～7月5日)
(参加作品数 4,353 点)
 - ◆区内小学校に球根を配付 (10月～11月)



「ツイッターを活用した情報発信」

統合事業費に分離計上した事業

- ・ 広報よこはま発行事業 - 千円 (30 年度 8,485 千円)
- ・ 市民相談事業 - 千円 (30 年度 1,445 千円)

令和 2 年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方

神奈川区では、「笑顔でつながる『神奈川区』」を基本目標として、地域の皆さまと協働のまちづくりを進めています。

区政運営にあたっては、地域による課題解決に向けた取組への支援や、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくりを行うことが求められています。

令和 2 年度予算編成では、地域の身近な課題にきめ細かく対応するため、これまでの取組の成果を踏まえ、次の 4 つの施策に沿って着実に取り組んでいきます。

1 安全・安心なまちづくり

- ・ 自助・共助による地域の防災力向上を支援します。
- ・ 地域や関係機関と連携し、防犯対策・特殊詐欺対策・交通安全対策に取り組めます。

2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

- ・ 幅広い世代を対象とした健康づくりを応援します。
- ・ 地域全体で子育て家庭を支え、子育てしやすいまちづくりに取り組めます。
- ・ 介護予防を推進し、認知症高齢者や障害児・者支援に取り組めます。

3 魅力にあふれ愛着が持てるまちづくり

- ・ まちの魅力を発信し、「かながわ愛」・「地域愛」を次世代につなげていきます。
- ・ 地域や事業者の皆さまとともに、地球温暖化対策やまちの美化・3Rを推進します。

4 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり

- ・ 地域の基盤づくりや地域協働の取組、地域主体の持続可能なコミュニティの形成を支援します。
- ・ かながわ支え愛プラン（神奈川区地域福祉保健計画）の第 3 期計画を地域の皆さまと推進し、第 4 期計画の策定を進めます。